

The 30th Fukuoka North Rotary Club Anniversary

Peace Through Service

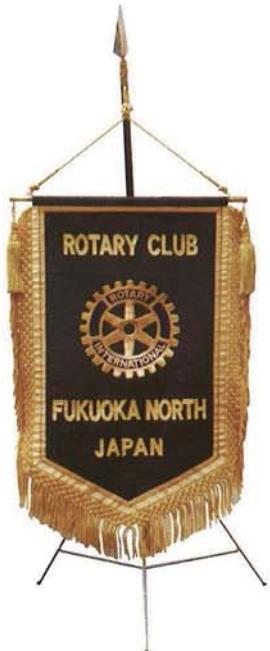


奉仕を通じて
平和を

福岡北ロータリークラブ

創立30周年記念誌

1983～2013



The 30th anniversary

Fukuoka North Rotary Club

1983→2013

C O N T E N T S

国歌 君が代・歓迎の歌	1
花は咲く	2
会長あいさつ	3
祝辞	4
福岡北ロータリークラブ・バナー	8
創立 30 周年記念事業委員会組織表	9
創立 30 周年記念事業	10
創立 30 周年記念シンポジウム	11
創立 30 周年記念事業委員会紹介	13
創立 30 周年を迎えて～記念メッセージ	15
創立 30 周年記念座談会	18
福岡北ロータリークラブ創立縁起・認証状	28
姉妹クラブ協定書	29
福岡北ロータリークラブ組織一覧表	30
クラブ概況	31
姉妹クラブについて	35
高雄中興扶輪社(RC)との交流の歴史	36
姉妹クラブ交流アルバム	37
30 年の歩み	41
ボーイスカウト団長祝辞	47
ボーイスカウト福岡第 14 団の歩み	48
ボーイスカウト福岡第 14 団と遊ぼう	50
会員名簿	53

福岡北ロータリークラブ
創立 30 周年 記念 式典
2013 年(平成 25 年)4 月 6 日
於: ホテルニューオータニ博多

福岡北ロータリークラブ旗



国歌 君が代

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
いわお(巖)となりて
こけ(苔)のむ(生)すまで

歓迎の歌

いらっしゃい いらっしゃい
よくおいで くださいました
いらっしゃい いらっしゃい
たのしく かたりましょう
(繰り返し)
きょうだけでなく
つぎつぎのひも
いらっしゃい いらっしゃい
いく いくたびも

東日本大震災復興支援ソング



1 真っ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい
あの街を 思い出す

叶えたい 夢もあった
変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい
あの人に 思い出す

誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

2 夜空の 向こうの 朝の気配に
わたしは なつかしい
あの日々を 思い出す

傷ついて 傷つけて
報われず 泣いたりして
今はただ 愛おしい
あの人に 思い出す

誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
いつか恋する君のために

創立30周年記念に寄せて

ご挨拶



福岡北ロータリークラブ
会長(2012-2013)

大浦 純平

◆ 和文

本日は多くのお客様のご来駕をいただき、クラブ関係者と共に創立30周年の祝典を挙行できますことを幸甚に存じます。

30年前の創設時にご苦労いただいた大先輩方のお陰で、現在の北クラブが在ります。

多くの会員により創設時の精神を継承しながらも変遷を繰り返し、今の北クラブが在ります。

「人を育てる」という崇高な精神は今なお健在です。

私は多くの諸先輩に感謝をしつつ、創立30周年の年度会長を拝命していますことを矜持とします。

私たちは、次のような30周年記念事業を実施しました。

青少年育成事業「育てよう思いやりの心II」として乳児期における母子愛着形成の大切さに焦点をあてた”Eye to Eye”キャンペーン、及び、「ボイスカウトと遊ぼう」と銘打ちボイスカウト福岡14団の30Kmハイクへ参加し団員との交流を深める、とう二つの事業を行いました。

また、東日本震災復興支援としてNHKの復興支援ソング「花は咲く」の売上に協力しながら、その記憶を風化させない為にと機会ある毎に歌ってまいりました。

広報事業として休止状態のホームページを新規に作成し利便性の高いものにいたしました。

そして、30年間歩みを続けた我が福岡北ロータリー・クラブの足跡をこの記念誌に凝縮し、先輩方の業績をまとめました。

実行委員会の皆様の精力的な活動により本日が迎えられましたことは、私の年度テーマ『奉仕を通じて絆を深めよう』を全会員により具現化していただいたものであり、大いなる謝意を抱いています。

本日の晴れがましい記念日を起点に、私たちは次の40周年に向かい30年間で培った北クラブらしさを尚一層深化させながら、良い意味での変貌も模索しながら、さらに絆を深めてまいりたいと存じます。

今後とも、ご来賓各位のご指導・ご協力を心中よりお願いすると共に、みなさま方のご繁栄・ご健勝をご祈念申し上げてご挨拶いたします。

2013年(平成25年)4月6日

◆ 漢文

今天，很多客人光臨會場，與我們扶輪社成員共同慶祝本扶輪社創立三十周年慶典活動，我感到非常榮幸。

因為有三十年前的大前輩們的辛苦工作，才有現在的福岡北扶輪社。

也因為有廣大社員繼承扶輪社創立時的精神，歷經多次變遷，才有了現在的福岡北扶輪社。

本社“育人”的崇高精神，迄今依然健在。

我感謝各位前輩的支持，並矜持接受本社創立三十周年年度的社長之令。

在本社創立三十周年之際，我們進行了如下紀念活動。作為青少年教育事業的“培養吧，關懷之心！”，是著重在乳兒期間培養母子之愛的“眼對眼”活動，以及組織了“和童子軍玩吧”作為口號的、童子軍福岡第14團的30公里行軍活動，並且和團員們進行深刻的交流。

還有，我們協助了NHK為支援東日本震災復興事業而製作的歌曲（花開）的銷售，為了不使記憶風化消失，一有機會我們就唱這首歌。

此外，已經停止的網頁作已經恢復，新網頁利用方便。今天，作為伴隨著本扶輪社走過三十個春秋的我，把“福岡北扶輪社”的每一步腳印都凝縮在這個紀念冊裡，展示了前輩們的豐碩業績。

由於實行委員會各位同仁的努力，才有了今天這個日子。我的年度課題是“通過奉獻，加強紐帶”，希望全體社員共同努力而得以具體實現。我對此感謝不盡。

今天是個值得紀念的起點，我們將繼續向40周年而邁進。我們要進一步發揚光大經過三十年而培育的北扶輪社之精神，不斷革新和探索，進一步加深我們之間的紐帶。

今後，我衷心希望能繼續得到各位來賓指導和協助，也衷心祝福各位同仁生意興隆，身體健康。

2013年4月6日

更なる奉仕と貢献を期待しています！



福岡市長
高島 宗一郎

福岡北ロータリークラブの創立30周年記念式典が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、昭和58年のクラブ結成以来、社会奉仕を活動の機会として、人とのふれあい・見聞を広められるとともに、発足時より継続して行われているボイースカウトへの支援をはじめ、これまで、福祉施設への支援やサクラ再生事業、福岡市内の小中学校への冊子・図書の寄贈など多岐にわたる活動に精力的に取り組まれております。これらの奉仕活動が長きにわたり継続されておりましたのも、歴代の会長様をはじめ、役員・会員の皆様方のご熱意とご努力によるものと、心から敬意を表する次第であります。

福岡市におきましては、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」をまちづくりのコンセプトに、この地に住むすべての人がいきいきと輝けるまちを目指しております。

また、「住みよいまち」として評価される福岡市の魅力や活力を維持し、将来にわたり発展していくためには、住みやすさに更に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と投資を呼び込むことにより、さらに生活の質が高まるという好循環を創って

いくことが必要だと考えております。

そのためには、皆様に象徴される多様な活動がこの目標の実現に向けての力強い支援になるものと大いに期待するところであります。

今後とも、ロータリークラブの皆様をはじめ、様々な分野の企業や団体、そして地域・市民の皆様のお力添えを賜りながら、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、福岡北ロータリークラブの今後の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。

2013年(平成25年) 4月6日

互助互恵で 絆の強い社会づくりを!



国際ロータリー
第2700地区
ガバナー (2012-2013)
井手 和英
(久留米ロータリークラブ)

福岡北ロータリークラブさんの創立30周年、誠におめでとうございます。

貴クラブは、福岡城西ロータリークラブをスポンサークラブとして、1983年6月3日に当地区で52番目に創立されております。爾来、歴代の会長、幹事、役員をはじめ会員の皆さんが、“超我の奉仕”的精神のもと一致結束して、明るい楽しいクラブ運営に努められるとともに、各自の職業を通して、更には様々な奉仕活動を通して地域社会の発展に大きく貢献しておられます。

クラブ運営におきましては、ロータリーの原点である例会を特に大切にされ、会員相互の親睦を深めるために、テーブル会や夜間例会を取り入れるなどいろいろと工夫されておられます。この事もあり、貴クラブの例会出席率は、ここ数年98%以上と非常に良好であり、当地区61クラブの中でトップクラスにあります。また、近年は多くのクラブにおいて会員の減少が続いている中、貴クラブは逆に会員が順調に増加しております。誠にご同慶の至りであります。

奉仕活動においては、創立以来、次世代を担う青少年の健全育成を中心とする活動に取り組んでこられております。クラブ発足時の記念事業として、ボイスカウト福岡第14団を創立し、今日まで30年に亘り資金援助のみならず様々な支援活動を行っておられます。この他、子供たちに読書を通じて多くの

事を学んで欲しいという思いから、市内の小中学校に図書の贈呈を行ったり、地元小学生と共に西公園の桜再生事業を行っておられます。これら長年に亘る地域社会への貢献に心より敬意と感謝を申し上げます。

この度の30周年記念事業におきましても、ボーイスカウト福岡14団との“30キロ合同ハイキング”や、市民の皆さんを招いての“親と子の絆”をテーマとする講演会やパネルディスカッション、先の東日本大震災を風化させないための支援活動など地域社会に根差した諸行事に取り組んでおられます。

今日、ロータリーは、会員の減少や活動の在り方などいろいろと問題を抱えておりますが、貴クラブのように会員一人ひとりがロータリーの原点に注力すると同時に地域社会が抱える諸問題に積極的に取り組んで行かれることが何よりも大切ではないかと思います。

貴クラブの今後ますますのご発展を祈念申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

2013年(平成25年) 4月6日

もっと大きな、 太い“絆”を



スポンサークラブ
国際ロータリークラブ
第2700地区
福岡城西ロータリークラブ
会長(2012-2013)

小柳 康之

福岡北ロータリークラブの皆様、創立30周年を迎える心よりお慶びとお祝いを申し上げます。

さて、貴クラブは1983年に福岡城西ロータリークラブをスポンサークラブとして設立された経緯は10年前の20周年のこの式典で我々クラブの先輩会長中西勇氏が詳しく述べられております。

その後今日までの30年間の歩みは平坦な道ばかりでなかつたと想像します。

現在会員67名の固い結束で、奉仕の実践を第一に各種事業が実を結び地区大会ガバナー表彰に輝くなど他クラブへの模範となるものが多いと聞いております。

このたびの30周年記念事業の幾多のプログラムで繰り広げられた中で、ポーイスカウトとの30キロハイクは、福岡城西ロータリークラブ第15代会長も勤められた30年前の特別代表平野桂樹氏の提案「樹を育てるより人を育てる事業を」の理念を継承してあるとの事です。

先達の理念がしっかりと育ってる30年と敬服いたします。

30年という時間軸は互いの両クラブが意識して守り発展させなければ、ややもすると細くなり先達のご意思をたがえることが考えられます。

この30年の記念すべき式典を契機に両クラブの人的交流はそれぞれがかなりなものを持っていきます

ので、クラブ間交流の絆を発展させる機会にしなければと思います。

最後になりましたが、貴クラブの今後のますますのご隆盛と会員皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、ご祝辞とさせていただきます。

2013年(平成25年) 4月6日

祝辞

友誼長久



姉妹社
中華民国台灣
高雄中興扶輪社
社長 (2012-2013)

張榮輝

◆ 漢文

福岡北30週年社慶賀詞。

社長張榮輝Finance. 2013.4.6

首先祝福福岡北扶輪社成立30週年，感謝邀請我們參加這麼有意義的活動，讓我們感到非常的榮幸。貴我兩社自1997年3月8日締結姐妹社以來，今年是第16週年，去年適逢敝社20週年紀念慶典，貴社由社長植田正男率領共有21位社友來到高雄參加敝社慶典，各位的熱情相挺，印證「海内存知己，天涯若比鄰」這句古老的詩詞，它是說“我們是世間上一群真正的知心朋友，哪怕遠隔天涯海角，心中也和近鄰一樣，以真心善念對待彼此，日久兩心相融，感受心靈的溫暖，才能成為知己”，也才能體會“千金易得，一友難求”這樣的意境，可見古人對知己的看重，遠在金錢名利之上，甚至超過了生命。人生能有如此知己，那是何等美好的人生啊！真誠之心、友善之意，是任何一個人所能夠奉獻給他人的最美好的無價之寶，所以我們再一次由衷感謝。

貴國與台灣地理位置相鄰，經濟條件相同都是天然物資匱乏島嶼，但在這樣的環境下卻蘊育出讓世人驚羨的經濟奇蹟，科技文明，雖然受到歐洲及美國金融風暴影響，發生經濟停滯現象，相信以 貴國人民勤勞聰明的特質，一定可以克服萬難，再創另一個奇蹟。

今年欣逢 貴社成立30週年，我們有 14 位社友及眷屬共34位團員抱著感恩的心專程向大浦純平社長及全體社友表達非常敬意，祝願我們的友誼長長久久，貴社社運昌隆，各位社友事業順利。

◆ 和文

はじめに福岡北ロータリークラブ創立30周年をお祝い申し上げます。私たちは、この様な意義ある活動に参加できることを大変光栄に存じ上げる次第です。

私達両クラブは、1997年3月8日姉妹締結以来、今年で16周年を迎えます。去年弊クラブ20周年の記念式典には、植田正男会長は21名の会員を率いて出席して頂きました。各位の情熱が突出しているのは古人の詩詞の言葉を実証しています。「海内存知己、天涯若比鄰」～天下に知己は在り、天の果て地の果てに在つても心はいつも隣りに在る。～

又、彼らが言うには、「私たちは世間の中で一群の真正で互いの心を知る友人であり、たとえ天の果て遠隔の地に在ろうとも心はいつも身近にある。真心と善意をもって互いに対応すれば、長い年月が経つに連れて両者の心は融和し、魂のぬくもりを感受し、知己に成ることができる。」

又、「大金は得やすいが、一人の友は求め難し」と云う境地に立つものです。古人は「知己」を重要視することが分かります。金銭や名声、利益を遠ざけ、甚だ生命を超越すると言つても過言ではありません。

人生においてこの知己を有することは、どんなに素晴らしい人生であることか！眞の誠意、親和と友愛の心は、人々に最も素晴らしい無償の宝をもって奉仕貢献することができます。それゆえ私たちは再度心から感謝を申し上げます。

さて、貴国と台湾は地理上では隣りどうしで、経済的には双方共天然資源は乏しい島国です。但し日本はこのような悪環境の中で数多くの人材を育成して、世界の人々が驚き羨望する経済の奇跡と科学技術文明をも生み出しました。

其の後欧米から起こったリーマンショックの影響で一時的に停滞したが、貴国の人々の勤勉で聰明な特質で万難を克服して、再び次なる奇跡を創出すると確信します。

今年、貴クラブ創立30周年にあたり、私たちは14人の会員及び家族等総勢34人の団員は報恩感謝の心を以て訪問、大浦純平会長はじめ会員の皆さんに敬意を表するものです。

私たちの友情が永久に続き、貴クラブの発展、クラブ会員各位の事業が順調であることを願い、心からお祝い申し上げます。

2013年(平成25年) 4月6日

福岡北ロータリークラブ・バナー



このバナーは、玄界灘の波と、博多の貿易や商業に重要な役割を果たした遣唐船を表現したものです。古来から博多は大陸との文化、経済のクロスロードとして発展してきました。福岡北ロータリークラブのバナーも、私たちのなりわいを通じて、明日の福岡の発展のために貢献できる精神(こころ)を受け継いでいこうという意味を込めたものです。

創立30周年記念事業委員会組織表

福岡北ロータリークラブ創立30周年記念事業委員会組織表

実行委員会	
会長	大浦純平
実行委員長	小副川浩二
実行副委員長	岐部定則
実行副委員長	梶原正成

役 員	
会長	大浦純平
副会長	鐘川邦次朗
幹事	市川清貴
SAA	山田宏次郎
会計	衛藤信久

■実行副委員長 岐部定則

部 会	部 長	副部長	部 員	アドバイザー
総務	大塚 弘	野村誠二	井上和敏	福地祐一
会計	井上義隆	廣瀬政光		白石正彦
記念誌	小林憲治	金納健太郎	前田恒善・森本裕朗	森本茂雄
記念事業	鐘川邦次朗	中西勇次	森 陽一・馬場田修一・村口栄一	植田正男
記録	井槌浩雄			

■実行副委員長 梶原正成

部 会	部 長	副部長	部 員	アドバイザー
式典	川久保邦彦	森山桂吾	日下部隆史・瓜生道明・山田隆一 北爪英雄・大野太三・阿部幸生 溝辺 哲・江崎哲郎	岩崎明弘 光安直樹
祝宴	中嶋利文	吉田匡人	川口勝延・安部誠司・紙野耕司 三嶋隆夫・相良恒久・城鼻勝次 田中克典・立石 満・平野敏彦	貞弘賢治
登録・受付	小野昭生	小島 隆	音嶋達矢・森元 豊・山下洋生・椎名隆行	葉山 孝
司会	井槌浩雄	井上賢司		篠崎勝信
姉妹クラブ	小牧徹志	松崎裕之	山田浩之(小林憲治・森山桂吾)	村上泰之

福岡北ロータリークラブ 創立30周年記念事業 テーマ「育てよう思いやりの心」

1. 青少年育成事業

①「思いやりの心、その原点」

福岡北ロータリークラブは創立当初より「人を育てる」ことを柱として活動を続けてまいりました。創立20周年では小冊子「子どもたちへ、歴史に学ぶ思いやりの心」を発刊し、市内の全小学校に贈呈し感想文コンクールを5年間にわたり続けました。今回創立30周年を記念し「思いやりの心、その原点」をテーマに「親子の絆」を深めるキャンペーン「生まれる前からの親子の絆づくり」シンポジウムを開催し記念事業をすることにしました。

②「ボーイスカウト福岡第14団と遊ぼう」

福岡北ロータリークラブのチャーターナイト記念事業として昭和59年に発団したボーイスカウト福岡第14団には毎年、新世代奉仕の事業として取り組んでまいりました。今年は創立30周年記念事業として福岡北ロータリークラブの全会員がボーイスカウトの子供達と30キロハイクに参加することにしました。

2. 広報事業

クラブホームページの構築についての趣旨

当クラブ創立30周年を迎えるにあたり、広報的な記念事業として下記の趣旨によりクラブホームページの構築を行う。

1. クラブ会員がインターネット上で簡単に今までのクラブの情報や資料を閲覧できる事により、クラブへの理解をより深める事が出来る。
2. 一般の方や入会を検討中の方等が当クラブの活動状況をインターネット上で閲覧出来る事で、より興味を持つてもらい、会員増強や認知度の向上につなげる事が出来る。
3. 例会等の情報をタイムリーに掲載する事により、現在のクラブ内の活動状況を確認する事が出来る。

福岡北ロータリークラブホームページ <http://www.fnrc.jp/> (2013年3月1日より公開)

平成24年8月25日の西日本新聞朝刊のコラムに我がクラブの20周年記念事業として発刊した冊子が紹介されていました。読んでいて、誇らしくもあり、30周年記念事業へ弾みがつくようで心が晴れました。

会長 大浦 純平

春秋
2012.8.25

この利害が絡み合う現代世界は、角突き合う隣国関係をつくる一方で、遠く離れた國同士でも心が通い合う関係をはぐくんだ。【子どもたちへ歴史に学ぶ思いやりの心】(占謙賢著)を読み返してそう思った。福岡北ロータリークラブが9年前に発刊した。収められた六つの話のうちの一つを紹介する。1920年代、ロシア革命後の混戦のなかシベリアで親を失ったボーランド人孤児たちが、疫病と飢餓で死線をさまよった。救援要請に日本だけが応じ、日本赤十字が76人を保護して治療した。全員を無事帰国させた後、孤児救済委員会から手紙が届いた。「受けた恩は忘れません。▼七十年後の阪神大震災でボーランドはいち早く救援活動に入った。孤児になつた子を含む被災児50人を招いて励ました。80歳を超えたシベリア孤児4人も会いに来て、自分たちが今日あるのは日本人のおかげですと涙を流して話した。医者や教師など人のために働く職業を選んだ人が多かったという。2002年の天皇皇后両陛下のボーランド訪問時も、シベリア孤児が直接お礼を述べている。両陛下は国を挙げて歓迎された。日本がいかに尊敬されているのかのとき分かったことでしょう、とボーランドの世界的映画監督アンジェイ・ワイダさんは一文を寄せた。東日本大震災のことだ。こうもあった。『難の中でも楽觀を失わない。それが日本人だ』

創立30周年記念シンポジウム

福岡北ロータリークラブ
創立30周年記念シンポジウム

～生まれる前からの親子の絆づくり～
マタニティ&ベビーシンポジウム



2013年3月10日(日) 10:00~12:30 (開場9:40~)

会場 電気ビル共創館3F カンファレンスA会議室 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82



10:20~11:20 基調講演

テーマ
～一生の幸せの土台～『愛着の絆』

(特活)子どもの村福岡 副理事長・村長
福岡市立子ども総合相談センターえがお館館長

坂本 雅子氏

子どもの村の村長の立場から、「愛着の絆」それは、子どもにとって一生の財産であるということ、「社会の宝」である子どもたちが、実の親、またそれに代わる人々に愛され支えられることの大切さについてのお話しをしていただきました。

11:30~12:30 パネルディスカッション

テーマ 「親子のファーストコミュニケーションは ふれあいとeye to eye」



[パネリスト]

基調講演の坂本雅子氏も
引き続きパネリストとして
登壇。



新米パパ
代表

上毛町ブランド創造協議会推進員
久保山 宏氏



新米ママ
代表

福岡在住タレント
えもと りえ氏



[コーディ
ナー]

「子づれ DE CHA-CHA-CHA!」編集長
濱砂 圭子氏

創立30周年記念シンポジウム

～生まれる前からの親子の絆づくり～
マタニティ&ベビーシンポジウム



【出演者プロフィール】

坂本 雅子氏

小児科医。九州大学、済生会福岡総合病院などで勤務。
1983年から福岡市の保健所、衛生局、福岡市健康づくり財団専務理事、保健福祉局医監を経て福岡市助役。2003年4月から福岡市相談役、福岡市こども総合相談センターえがお館名誉館長。
現在、特定非営利活動法人子どもの村福岡 副理事長・村長。

久保山 宏氏

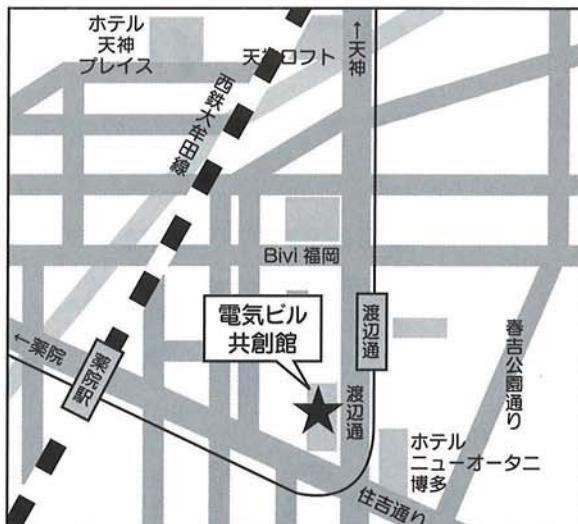
上毛町プラント創造協議会 推進員。学生の頃から食、教育、まちづくりなどの取組に参加。大学教員を経て、現在は福岡県の最東端、上毛町(こうげまち)にて、地域の雇用創出プロジェクトに従事。1児のパパ。

えもと りえ氏

ワタナベエンターテインメント所属、福岡を中心に活躍中のタレント。1児のママ。CM、モデル、女優、レポーターとして、幅広く活躍。
TNC「もち浜ストア」/RKB「今日感テレビ」など他多数レギュラー出演、現在は育児休暇中。

濱砂 圭子氏

株式会社フラウ主婦生活総合研究所 代表取締役社長
福岡子育て応援マガジン「子づれ DE CHA・CHA・CHA!」編集長。
育児サークルからスタートして、今年で創刊20周年を迎える。
(特活)男女・子育て環境改善研究所 理事長、
(特活)NPOふくおか 理事長。



■会場

電気ビル共創館3F カンファレンスA会議室

福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

【access】

- 西鉄「薬院駅」から徒歩約7分
- 市営地下鉄七隈線「渡辺通駅」から電気ビル本館B2Fへ直結



▲基調講演の坂本雅子氏



▲「愛着の絆」に熱心に聞き入る会場の皆さん。



▲開会にあたって主旨を述べる
小副川実行委員長



▲親子の絆づくりについて、体験を踏まえた「知恵」で公開討論。



▲受付の皆さん。真中は米山契学生の朴佳栄さん

パク カヨン

創立30周年記念 事業委員会紹介

▼実行委員会及び役員



▼総務部会



▼記念誌部会



▼会計部会



▼記念事業部会



創立30周年記念 事業委員会紹介

▼式典部会



(瓜生氏不在)

▼祝宴部会

▼司会部会



▼登録受付

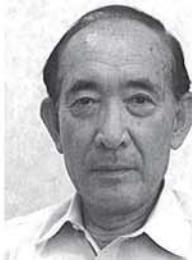


(音嶋・山下氏不在)

▼姉妹クラブ部会



樹を育てるより 人を育てよう



会員（元会長）
岩崎 明弘

福岡北RC発足時の平野桂樹特別代表のお言葉です。「人を育てる」ということを、強く印象づけるためとはいって、「樹を育てるより」という否定的な言葉に貌然としない感じがありました。

偶々、当クラブの10周年記念誌を見ていたところ、そこに、先輩会員がこの言葉の真意と由来について寄稿がありましたので、参考までに披露させて頂きます。

『当クラブの創立記念事業として何を？』といろいろ検討され、記念植樹も有力な案の一つでした。当時、「油山市民の森」も整備途上にあり、「天神緑地」も大きな話題となっており、地球環境もとりざたされ始めた頃でした。若木を植樹し、この若木が根をはり、枝をのばし、葉を繁らすことは素晴らしいことで、時宜を得た事業だと考えられた。

しかし、「何十本、何百本もの木を育てることは、本当に立派なことであろう。だが、多くの子供達が健やかに育つことは、もっと、もっと大きな社会の財産になるのではなかろうか。」「子供達が健やかに育ち、社会のため、人のために役立つ成人になれば、これに優る成果はない。地球に優しい一人の人間が育つことは、何万本の植樹にも優る。地球への優しさになる。』樹を育てるより、人を育てよう』

平野特別代表のこの熱い思いが、日本ボイースカウト福岡14団体の発足と育成につながったのです。

当クラブには、ガバナー時に、当地区に初めて、RYLAを創設された新家忠男PGもおられました。

本クラブの底流には、「人を育てる」ことへの情熱と努力が脈々と流れ、伝統となって受け継がれています。

ただ、そうはいっても、当クラブは、平成21年度から、危機的状況にある西公園の桜の現状調査と活性化、及び再生活動に取組み、樹を育てる運動も実施しています。

この樹を育てる運動は、福岡教育大附属小学校の児童と共に一緒に、植樹の方法を学び、植樹を行ってきました。

当クラブでは、樹を育てながらも、常に人を育てるということに本領を置いており、これからも、そうあり続けたいと念じています。

そのためには、先ず自分自身が育たなければならぬと思い、ロータリーライフを送っている今日この頃です。

例会場移転の件



会員（元会長）
白石 正彦

福岡北ロータリークラブの第27代目の会長として、平成21年7月から事業を引き継ぐことになりました。幹事の井槌浩雄氏、SAAの井上賢司氏に支えられながら、アップアップの一年間でした。

しかしながら、会長を経験させて頂いたことはこれまでのロータリーライフにとって、測り知れない大きなものを、私の心に残してくれたと確信しています。中野会員にガバナー補佐をお願いしていることから、1月のIMが当面の事業として差し迫った課題です。何にも分からぬ中、会場予約、実行委員長を大浦会員に引き受けて頂いたことで取りあえず動き始めました。

井槌幹事とは事業計画について何度も打ち合わせました。『富士山に登ろう』、『例会場を変更しよう』『ボイスカウトとの関係確認』『若楠基金の検討』などでした。

『富士山に登ること』については、会員間になかなか機運が盛り上がりなくて、結局、井槌幹事が一人で登ってくれました。

『ボイスカウトとの関係』についてはとても熱心に先方の団長さんとの打ち合わせなどやっていただき、総会やウォーキングなどの事業、あるいは忘年会にも参加したりしました。

『若楠基金』は当初、基金をつくり、その運用益で奨学金を出そうということを先輩の会員が考えてこ

られ、資金が集まっていたのですが、現在の低金利時代において、運用益を得ることの困難さは明白であり、もはや当初の目的に沿った基金の利用は不可能と考え、運営委員会で検討した結果、福岡市の教育委員会の意見も参考にして、『野間中学校に3年間、図書を贈る』という社会奉仕事業になりました。

また社会奉仕委員会では、小野昭生委員長のもと森陽一会员や福岡県の造園業協会の協力を得て、福岡教育大学附属小学校の生徒さんたちと一緒に、『西公園の桜再生事業』を3年間継続するということで立ち上げました。

『例会場変更』については、井槌幹事が最初から非常な情熱を持って取り組みました。嫌だったのは食事の不味さでした。

変更後の予算のことから、以前の会場と同程度の予算でやるというTホテルと現在の例会場のホテルニューオータニとのいずれにするか、会員間で何度も話し合い、最後はアンケートで決めました。

私は経費が安くて運営できるTホテルの方が良いのではないかと思っていたのですが、会員の思いは40対20で現在の会場を支持する意見が圧倒的でした。

私も現在では、ホテルニューオータニが例会場になって本当に良かったと思っています。

退会の弁



会員（元会長）
植田 正男

このたび、40年余のロータリー生活に終止符を打つこととしました。福岡北ロータリークラブの会員の皆様には、長きにわたり、公私ともにご厚情を賜りました。私の後半生に豊かな彩りを与えていただいたこと、厚くお礼申し上げます。残夢整理として、私のロータリーライフを記したいと思います。

1994年 福岡北RC入会

1996年 高雄中興RCを姉妹クラブ調印のため訪問

1998年 15周年 週報特集号を担当

2003年 20周年 記念誌を担当

2008年 25周年 光安会長の下で幹事を務める

2011年 2011-2012年度 会長を務める

2013年 30周年 大浦会長・小副川実行委員長の下、盛大に行われる

2018年 35周年 A会長の先導で富士山に登る。山頂にて記念例会、ソング委員長として「それでこそロータリー」のタクトを振る

2023年 40周年 会員数80名に。姉妹クラブ委員長として博多ー高雄豪華客船の旅を企画、会員夫婦50組が参加

2028年 45周年 孫がボーイスカウト福岡第14団に入団、新世代委員長として一緒に30キロハイクを歩く

2029年 葉山元会長の白寿の会 司会を務める

2033年 50周年 会員数100名を超える。出席委員長としてヨーロッパ2週間周遊メークアップの旅を企画、会員50名が参加する。

創立30周年記念座談会

創立30周年記念座談会
40周年へ向かって!!
～チャレンジしよう～

□日 時 平成 24年 11月 14日 (水) 午後 6時 30分
□場 所 ホテル・ニューオータニ博多「高砂の間」
□出 席 者 大野太三・廣瀬政光・前田恒善・村口栄一・山下洋生・吉田匡人
□司 会 記念誌部会アドバイザー 森本茂雄
□アドバイザー 30周年記念事業実行委員会 委員長 小副川浩二
30周年記念事業実行委員会 副委員長 岐部定則
□記録編集 30周年記念事業実行委員会 記念誌部会 森本裕朗・小林憲治
金納健太郎・前田恒善



〈写真〉左より、大野太三、廣瀬政光、前田恒善、村口栄一、山下洋生、吉田匡人



小副川 忙しい中お集まりいた
だきましてありがとうございます。
本日は30周年記念事業委員会の方
で少しリクエストを出しまして、
10周年、そして20周年の節目節

目に必ず座談会をやって、振り返りと将来のうねり
という話をこの会議でしています。今回も40周年に
向けてという事で皆様方に集まって頂いて現状への
期待や対応について、各々考えがあると思います
し、また10年後に向けてどうあるべきかと言う事も
含めて皆様で座談会をして頂きたい。

小林 今日は忙しいところを有難うございます。
今、小副川委員長から話が有りました様に、10年毎に
こう云う企画で座談会をやっています。今日は会員を
代表して6の方に出席して頂きました。忌憚な
き発言で結構でございます。自由な発想で提言など
も含めて、色々なご意見を期待しています。

司会進行係の森本さんの方から4つのテーマを
用意されています。4月6日には本日の皆さんのお発言
をまとめ、写真を入れて、記念誌の中に特集として
編集し、当日記念式典出席者にお渡しします。宜しく
お願い致します。

森本(茂) 司会を委員長から仰
せつかりました森本です。宜しく
お願い致します。テーマを4つほど
挙げさせて貰いました。

そのテーマについてこれまで
当俱楽部がやってきた事を少し私が覚えている範
囲で書いてきましたので、参考にして貰えたらと思
います。20周年の時に座談会を行ってその記録が
残っており、今読んでおりますと丁度成人になつた
かなという言葉が飛びかっておりまして、そういう雰
囲気の座談会になっております。10年たちまして今
30年、40年に向かって働き盛りのクラブになってど



創立30周年記念座談会

うあるべきか、という様な事を話し合って頂ければと思います。

テーマは4つございますが、一番最初のテーマは私が進行をさせてもらって、次の「クラブの親睦を深めるには」については、一番若い方に進行をお願いするということで、吉田さんにお願いします。「木を育てるより人を育てる」というテーマには人を育てるということで、一番年上の型が良いと思いますので廣瀬さんにお願いします。「魅力ある福岡北ロータリークラブに向かって」は皆で話し合いたいと思います。

最初のテーマの「奉仕活動について」、アイウエオ順で大野さんから話して頂ければと思います。

ロータリークラブの奉仕活動について



大野 1のテーマ奉仕活動について、20周年の記念の本が家にありましたので読ませて頂きました。修正された後だと安心はしておりますが、皆さん、素晴らしい

事を言っておられます。

お便りの会は初めて聞きました。「タオルを集めて雑巾にして施設へ送る」これは違うのですね。「スペシャルオリンピック」、これはロータリーじゃなくて、他の所で聞いております。そのスペシャルオリンピックの会が有って、そこにも行った事があります。

森本(茂) 私もスペシャルオリンピックには寄附を続けております。

大野 今の状態で4年目ですけど(5年目かな。)どうだと言われましても、私としてはあまり身近に無いというか……ですね。

森本(茂) 廣瀬さん、お願いします。

廣瀬 一般論的な話をさせて頂きますと、出来るだけクラブ奉仕では例会に出てきて皆さんのクラブ行事に積極的に参加をして、会のお世話を通じながらクラブのサービスに貢献をしたいと思います。職業奉仕については「自分の利害を離れて相手の為にな

るという事を常に考えて職業奉仕をしていく。」という事が職業奉仕の基本的な精神かなと思います。

森本(茂) では、次お願いします。

前田 自分が、何か奉仕活動をやっているかどうか、というと今までにやったかなと疑問がありますが、野球部で戦力になったという事で「おまえは奉仕をしている。」という事を言われたのを思い出したので、もしかしたらそういう奉仕は出来たかなと思います。

森本(茂) では、次は村口さんでしょうか。

村口 ロータリークラブの奉仕活動という話なんですが、生活と商売と会社とお客様という部分と、やっぱり別の世界の中で生きていかなければならぬなと私は感じております。

過去に、子供会の会長、育成会の会長、地区的体育委員をやったり、あとは、中学高校大学のOB会の会長をやって、自分の商売と全く関係ないところで活動していくのは大事なことかなと私は思っております。

ロータリーに入らせて貰って、ここに書いてある幾つかのテーマをやる事は、素晴らしいなと思っております。

森本(茂) 次、山下さんお願いします。

山下 ロータリーの奉仕活動に米山学生とかお便りの会とか書いてありますが、これが奉仕活動だという認識は無かったですね。私の認識では逆に「木を育てるより人を育てよう」の所に書いてあるボーイスカウトの奉仕とか、学校に図書を配布とか、後は確か西公園で付属の小学生を集めて植樹をしたとか、これが奉仕活動とばかり思っていたので今、認識不足を感じております。

人が子供に自分の子供だけではなくて、世間の子供に対して興味を持つというか関心を持つというようなことが、特に大事なことではないかと思っております。

たとえば特別支援学校とかですね、親も苦労しながら育ててあるような環境の方にも、普通の活動と違って手間もかかるとは思いますが、時間に余裕があるのであれば、個人的にですけど目を向けて良いのかなと思っております。

森本(茂) 最後に、吉田先生お願いします。

創立30周年記念座談会

吉田 僕は奉仕活動というか、診ているのは特に老人の方が、それも一般家庭から悪い言葉で言うと追い出された形の方が多いです。家で面倒見きれなくなつた認知症の進んだおじいちゃん、おばあちゃんを預かる場所に日常生活の健康管理を行つてゐる仕事なんですが、そこに行った時に、これはして上げようとか、この方に医療や介護でマットは下りないけれども、どうしても足がしびれる方に軽いマッサージ付きのマットを僕が自分のポケットマネーで買ってあげるとかは偶たまにします。

子供に対しては先程おっしゃった様に「木を育てるより人を育てよう」の方で出来ると思いますが、半分家族から見放された、今まで日本を支えてくださつたおじいちゃん、おばあちゃんに対して、「今までありがとうございました。」という感謝の気持ちを込めた奉仕活動も出来たら良いと僕は思います。

森本(茂) ありがとうございます。今までの話題の中で皆さんご意見があれば、おっしゃって頂ければと思います。小副川さんいかがですか。

小副川 ロータリークラブの奉仕活動は幾つかあるんですけど、我々の年代からすると、仕事を通じて色々な活動をするという事が一番ピッタリするかなと思います。ですから自分の仕事を熱心にやるという事が、原則だと私は思っておりますし、基本的には吉田先生は医療を通じて奉仕活動をするし、前田先生は弁護活動を通じて奉仕活動をするという事で、ですから、特別木を植えたり、本を寄贈したりという事だけが表に出てくるのか奉仕活動ではないのではと私は思っています。

森本(茂) 何かほかにございませんか。

大野 今のは個人個人の活動が違つても良いという事ですか?

小副川 基本はですね、職業奉仕なんですよ。ですから自分の仕事を一生懸命やる事によって地域の人に喜んでもらうとか、または子供たちに将来性を与えるとか、また老人介護の問題もそう言うようなことで解決されるのではないかという事で、あまりそれ以外に物を送るとか、お金を送るとかいうのは、ロータリー奉仕活動は、もう少し違うのではと私は

理解しております。

村口 吉田先生とか前田先生は、人が前にいて喜んだ顔、悲しんでいる顔に対してリアルタイムで反応できる。我々は電気事業を通して安定供給の中でやっているので物を納めてどうこうで、それを何処まで喜んでくれるのかは分からないんですが。電力の安定供給の仕事に協力して、皆の生活が現在まで来ているというのは、我々としては誇りに思つていのではないだろうか。

これがリアルタイムで皆さんが喜んで下さるならもっと力が入りますよ。

小副川 大きな視点で言うと電気事業も日本の産業・経済や国民生活、大きくは国力を支えている大きな部門であつて、多くの人に幸せを与えていたのだから、直接ありがとうございますと言われるとか、ニコッと笑顔になつてもらうとかは無いかもしれませんけど、広い意味で考えれば私たちが豊かに生活できるという事はそういう事業のお蔭だと思います。

村口 土木工事もそうですよね。

小副川 大いに誇りを持って貰いたいですよね。

森本(茂) それでは1番目のテーマはこの程度に致しまして2番目のテーマ「クラブの親睦を進めるには」に移ります。では、吉田さん宜しく司会進行をお願いします。

■クラブの親睦を進めるには

吉田 僕の場合は親睦委員長をやつた事がありまして、入つて3年目だったと思いますが、その時にとんでもない事をやりまして非難こうこう嘯嘯ごうごうでございました。前期SAAと会長、幹事のご苦労さん会の時に中洲のクラブで夜間例会を企画しました。僕は家族が来ない唯一の夜間例会、男同士の会だから良いだろうと思つてしたんですが非難嘯嘯でございました。



森本(茂) 良いという話もありましたよ。

吉田 親睦を深めるには、男同士の時はそういう

創立30周年記念座談会

所へ行ってワイワイお酒を飲める方、飲めない方も含めて横に小奇麗な方を置いてワーッと親睦を深められたら良いなと思ったのですが、「そういう事じゃないと」諸先輩方から怒られまして・・・もし自分が親睦委員長になられたら、親睦を深めるために、夜間例会だけではなく、もう少し親睦を深める事について意見をお願いします。

大野 ここにテーブル会・夜間例会・野球部とかいろいろ書いてありますが、これらは決まったものではないのでしょうか。何かあれば他に追加してもいい訳ですか。

森本(茂) 音楽もやりませんかというアンケート結果もありました。

大野 テーブル会はただ飯を食うのではなくて、ほかに何かどつか一泊温泉旅行をするとか、ここから食み出して考えても問題ないんでしょ。

吉田 あまり食み出し過ぎると怒られますよ。

大野 テーブルの人の親睦を進めるが当初の目的でしょう。枠の中に決められて、「これをやりなさい、あれをやりなさい。今までずっとこれをやってきました。」というんじゃ、私みたいに「身近じゃないけん出席せんめいかね。」という捻くれ者が出てくると思うんですね。だから「自分で考えて自分で出来るようなものが、そういう余地がロータリーにはあるんですか。」と逆に聞きたいな。

森本(茂) 十分あります。これも段階的に考えここまで増えてきたんですね。

大野 そういうのがいいと言われれば、度を越さなければもっと面白いロータリークラブになるかも知れない。

山下 旅行会と書いてありますが、旅行会てなんですか。

森本(茂) 旅行会は何回かした事がありますよ。

小副川 ゴルフを一泊でしたこともありました。土曜日に行って旅館に泊まって食事をし、翌日ゴルフをして帰ってきました。

大野 何故駄目になったんですか。

吉田 駄目になってません。今もやっています。

村口 全員強制ではなくて、土曜日用があるから日

曜日ゴルフだけとかいう自由参加で。

森本(茂) 囲碁・麻雀・カラオケは親睦委員会の方が頑張った時にできた催し物です。

大野 それじゃ、相当親睦委員が頑張らないといかんですね。

吉田 じゃあ、廣瀬さん親睦委員長になったなら。

廣瀬 何のための親睦なのか、ただ集まって騒いでお酒を飲んだだけの感じじゃなくて、単なる異業種団体の親睦会でもなく、ロータリーの「4つのテスト」の精神というか、そういう心を持たれた方の集まりであると一つの線がしっかりとしていて、老いも若きも異業種でありながら年代も違うが、そこで温かい友情を育まれる様な催物であれば何でもいいのではないか。こういうふうな考え方でやっていく事が本当の意味で親睦につながって行くのではないかと思います。

吉田 では、前田さんお願ひいたします。

前田 ロータリークラブの親睦を進めるシステムは良く出来ているなあと思うのが第一の感想です。弁護士の集まりといったら自分の顧問先とかそういう所の飲み会が多く、そういう所に行くと大体上座に座らされて持ち上げられるわけで、非常に弁護士として歪な成長、という風になっていたなと思うんですね。



先程から話題になっているテーブル会、テーブルごとに集まって、しかもローテーションで回して必ず1回はテーブル会をやると。そういうシステムはとても良く出来てると思います。一つの一種運命的な共同体的な、他の異業種交流会と違った作り方は、長年培われた英知からの結晶なんだろうなといつも感心しています。

さらにその中でも野球部に入らせて頂いて、色々な方々と交流させていただいてますが、まあいろんな集まり、例えばマージャンも学生の時以来やっていないので、マージャンの集まりでしたらやらせて貰いたいなあと思うし。先程、大野さん指摘のテーブル会で1泊とか確かに面白い仕掛けだと思うし、そういう点では色々なバリエーションで益々この親睦は高

創立30周年記念座談会

まると思います。親睦が高まるというのはこの集まりとしての絆がもっと強くなる事ですし、それがこの集まりに出ている意義というか、その中で色々な方々と接触させて頂いて、ご指導を仰いでいる訳です。

前回テーブルマスターをやったんですが、本当に緊張しました。皆さんどういう方が来られているかということが2回目のテーブルマスターやった時に良く分かりました。1回目の時は何も考えなかつたので、普通の集まりをセッティングをすればいいかと思ってたんですが、今回はそういうもんじゃないなという事が分かって、そういう経験も非常にありがたいなと思うし、皆様方がどういう風にお酒を飲んでらっしゃるかということも拝見させて頂いて参考になるという事で、ここの中で勉強させて頂いているというか、ものすごい経験になっており非常に感謝しております。

吉田 はい、では次村口さん。

村口 例会の話からさせて貰いますが、まったく利害関係ない中で何をやって行くかというと、やっぱり人が会うということがすごく大切で、それが1ヶ月1回で良いのかという話だと空きすぎて、1週間に1回会うというシステムが、やっぱり奉仕という意味では大切だと思います。

あとは、さっき大野さんがおっしゃったように「色んなことをやっていいんだろう」と僕は実際に思っております。だからここに書いて有る様なものは良く計画されているなと思いますし、そこに関係している方がちょっとバカになって盛り上げて、そして人を集めめてやるというのが大切な事かなと思っております。

吉田 次、山下さんお願ひいたします。

山下 クラブの親睦を進めるにはという事ですが、先程お二方、大野さん、前田さんが言われた様に、このシステムは良く出来ているんですね。しかも週1回集まって顔を合わせて食事をしてここに有る様な色々な会まで入って、同好会も各種ございますし、これ以上の事があるのかなと。これかなり過密ですよね。私としては各会員の気持ちの持ち方が変わればもっと親睦が深まると思います。

吉田 ありがとうございました。という皆さんのご意見です。

森本(茂) 副委員長、今の話の中で何かご意見はないでしょうか。



岐部 会員の皆さんと仲良くなつた一番のものは、3か月に1回のテーブル会、お酒を飲んだら日頃言いたいことも言えますし、仕事の内容について初めて知ったという事が結構多いですね。そしてテーブルマスターの行きつけの店がどういう店かよく分かります。僕らが全然行った事が無い様なこういう店もあるんだなと、非常に勉強になります。私は現在年金生活をしている様な次第です。だから職業奉仕というような観念は残念乍ら、昨今は少し薄れてきてますね。でもロータリーで仲の良い友達も沢山出来ましたし、まだ席を置かせて貰っております。宜しくお願いします。

森本(茂) では次に進みたいと思います。「木を育てるより人を育てよう。」これは設立の時に平野特別代表が提唱されてずっとそれを引き継いでいるテーマで、これに基づいて色々な事をやっている訳です。それでは、司会進行は廣瀬さんで宜しいですね。

■木を育てるより、人を育てよう。

廣瀬 「木を育てるより人を育てよう。」というテーマですが、色々ボイスカウトとかライラセミナーとか、小学校へ図書の寄贈とか有りますけど、今考えている事が有れば一人ずつ意見を言って頂きたいなと思います。大野さん。

大野 要するに、人を育てようという事だろう。書いて有るとおり、ボイスカウトとかライラセミナーとか、子供たちへ歴史の本の配布とか、やっぱり最初みんな子供だろうと思うんですよ。

なぜ日本人が世界からいうと勤勉実直という事でみられるのか、日本人は素晴らしいと。今度の東北地震の時も、世界の皆さん、ニュースから日本人の素晴らしいを確認した訳でしょうが、いざ中に

創立30周年記念座談会

入ってみると色々な人間がいるんですよね。

100%が100%じゃ無い。いい勤勉さというのが日本人は率としては世界に対してものすごく高いんじゃないだろうか。

確かに日本人は勤勉なんですよ。素晴らしい人が良いと思います。それは昔から培ってきたものなのか、元々持って生まれたDNAなのかどうか分からぬんですが、そしたらやっぱり、「子供を育てよう」と云うテーマは今からの日本にとってはホントに大事な課題。人を人として見て無い様なそんな日本人を作りたく無いと思っております。子供たちに対して正しい歴史を教えるとか、いろんな本を与えるとか。それと、この間テレビで見た里山教育、あれもまた素晴らしいなど。

子供たちは子供たちで修正能力があるというのは素晴らしいなと見ていましたが、そういうものに関してロータリーが何か出来ないかなと。このような事を1年でも2年でもいいけど一緒に考える時期があって、そして実行する時期もあって、全部合わせて10年で、40周年の時に「こうやったよ。」と言えるようになればいいかなと、思っております。



廣瀬 ありがとうございました。

我々が体験してきた中で大切なものを親が子供に伝えていかなければならない、という使命感があるのではないかと。折角ロータリークラブで社会奉仕とか、国際奉仕とか色々奉仕活動がある訳ですので、次世代に向けて、子供たちへ本を寄贈したりセミナーをやったりボースカウトと一緒に歩いたりすることによって、子供たちと同じ目線に立って、一緒に行動して、体験しながら、伝えていかなくてはいけない。そうでないと日本の未来に色々問題が起きて来ますね。私たちも戦争体験はありませんが、おじいちゃん、おばあちゃんに伝えて貰ったこととかを少しでも伝えて行けたらいいなと思います。

前田 いろいろな社会活動で木を寄贈して何とか寄贈とか、建物に建築費を出しましたとか、そうではなくて重要なのは人間なんだ、という主旨の話なん

だろうなと考えていたら、標語については形ではなくて中身、本質的なものを追及するというのがクラブの本質という趣旨の話と思っておりました。

人を育てる、ということで子供の話が出てましたが、自分の周りについて一番関心のあることといえば、若い弁護士に、上の世代から継承したものいかにバトンタッチするか、というようなことをものすごく感じています。

一言で言えば何が依頼者にとってベストなのかというか、商業主義に走らないとか昔から引き継がれているものが業界でも失われつつありますので、そういうことについては自分でできる範囲で、さつき小副川委員長が各仕事の中でと言われたことを受けて、私も自分の仕事の中でそのようにと考えております。

もう一つは、メディアとの関わりが比較的あるポジションにありまして、若手の記者に対しても、彼らによって多くの人を傷つけることもあるわけで、彼らとの接触の中で我々の持っている感覚とかを伝える、というようなことを職業柄考えています。

廣瀬 ありがとうございました。次は村口さんお願いします。

村口 「木を育てるより人を育てよう。」という標題を最初見て、なんでこんな標題になるのという疑問があって、ちょっとその趣旨を教えてもらいたい。平野特別代表に何かがあつてこの表現になったのでしょうか。

森本(茂) それは、木を植えて、「これはロータリークラブで植えました。」とかいうのが当時よく行われていて、それよりも真剣に人を育てることの方が大切ではないか、というのが趣旨でした。

大野 人を育てるというのは、ロータリアンを育てるということなのですか。

森本(茂) 子供も含めて周りの人をということでした。だからボースカウトも一番最初にやつた仕事でした。

村口 よくわかりました。子供たちという話にもなってくるのでしょうが、私としては十人十色で、色々な方がいらっしゃいますよね。

ぞしゃく
咀嚼して言うと、私の祖父の時代、私の父親の時代、私の時代、そして自分の子供たちの時代、人に

創立30周年記念座談会

迷惑を掛けてはいけないとう基本的な事はあります
が、こうしなければならない、ああしなければなら
ない、これはこうあるべきだ、日本人はこうあるべき
だ、結果は早く出さなければならない、というパター
ン化されている風潮の中で、成人の人も大変だろう
し、なおさら子供たちも大変だろうと思う。

やっぱり人と顔を会わせて、会話をし、相手がな
ぜそんな表現になるのかなどを考えながら人と接し
ていけば人は育っていく、変な方向に行かないのでは
ないかと思っています。人を育てるという事はフェ
イス・トゥ・フェイスの中で会話をするのが大事では
ないかなと思います。その中でロータリーとしてやつ
て行ける部分を見い出していきたいなと思っており
ます。

廣瀬 ありがとうございます。続きまして山下さんお
願いします。

山下 子供たちは伸び伸び遊ん
でいる様に見えますが結構世界
が狭い、なかなか他の世界が見
えないような状況に昔からあるん
ですよね。新聞の報道などによると、まずい事には蓋をして表に出さないという状況
が多いんだろうと思うんですけれども、そういうなかで、ロータリークラブはある程度余裕のある方、常識
のある方々が集まっている団体だと思います。物を送
るのも大事ですが、それだけで無くて交流する、実
際そこに行って目で見て子供と接してみると、そ
ういう事が大事ではないかという気がします。



大人がそばに居て関心を持つてくれるということ
が子供も分かれば、もっと伸び伸びと育っていくの
ではないかと思います。

廣瀬 ありがとうございました。では最後に吉田さ
んお願いします。

吉田 子供と交流を持つという事は一番大切だと
思います。僕の職歴の中に仕事をした場所として、知
能障害者とか完全に鉄格子の中に入れられて放置
されてたり、落ち着かせるために薬を打たないと
いけないというレベルの少年少女たちが集められ

ている場所があります。軽度の方は散歩をしたりしてらっしゃいます。そういう障害のあるお子さん達の所にロータリークラブの皆さんがせめて見学に行って、子供たちというのは正常にボーイスカウトで頑張っている子供だけじゃないよということを知る。

それともう少し軽度な障害のある方と一緒に食事をするとか、たとえば岐部農園を開いて頂いて軽度の障害のある子供たちと一緒に野菜を作るとか、考えてみても良いのでは無いでしょうか。

理想を言えば、ロータリアンが軽度の障害のある子供たちとニンジンやキュウリを作りそれが育った時にそれを使った食事会をどこかで、これはロータリーのお金ができると思うので場所を借りて食べるとか。ボーイスカウトの人達を招いて障害のある子供たちと一緒に夜間例会するとか、子供に触れる事によって、僕達も勉強になるし、彼らも医師とか弁護士とか立派な大人の職業の話などを聞いて学んで頂くと有難いと思います。

僕の場合はどっちかと言うと正常な子供より障害
のある子供達を何とか助けてあげたい。

廣瀬 有難うございました。ここに書いてあるテー
マに基づく具体的な実績というのは、その時その時
の記念行事みたいな形でボーイスカウトに支援をし
ましょうとか、図書館に本を寄贈しましょうとかいう
のがあった訳ですか。

森本(茂) そうですね。歴史の本を配ってそれが
終わって、その次に何をしようかという話が有って
図書を寄付したらどうかという提案がありました。
一つの課題を、3年あるいは5年かかる順番に
やってきました。

廣瀬 年度毎にテーマを決めて、具体的にどういう
形で将来の子供たちに提供していくのかということ
を、皆さんで知恵を出し合っていく、そういう活動が
最終的に「木を育てるより人を育てよう」という形で
奉仕活動になったのではと思います。

森本(茂) このテーマについて他に何か意見はござ
いませんか。

廣瀬 今思い出しました。母校の修猷館高校では、

創立30周年記念座談会

高校生がこれから就職する、大学に行くという、進路を決めるという時期に、我々職業人が職業別のグループを作つて実際に教室に行き、実務の話ををする。高校生は興味のある職業についている先輩の方の話を聞くというような催しを講座みたいな形でやられたんですが、そういったのも一つのやり方ではないのかなと思いました。

森本(茂) 具体的な話も出てきましたが、最後のテーマが40周年に向けて「魅力あるクラブをどうやって作れば良いか」についてですが、せっかくの30周年の座談会ですから、幾つかこういう具体的な話が有りましたというような事がありましたらいかがでしょうか。

魅力ある福岡北ロータリーに向かって



村口 ここに書いているテープル会にしても夜間例会にても野球にしてもカラオケにしても、人が集まってやろうとした時に近づけば近づくほどちょっとした摩擦が起こるケースが有るのです。

組織に対する熱い想いは大事ですが、何処かで眺めて上手く纏まるように、そういう人達の集まりにしたいと思っております。

たとえば高校や中学の関係の集まりで何かをやろうとした時にそこに集まって来ない人がもっと悪いのですが、集まって一生懸命やろうとした人たちの中で仲間割れをしたくないと思います。そういう事に気を付けながらゴルフ同好会はやらして貰っていますが、そういう事はきちんとやっていきたいと思っています。我々の北ロータリーも色々有ると聞いておりますが、上手くやれる様な会にしていきたいと思っています。

吉田先生の話は具体的で、こういう子供達と一緒に何かをやってみると言う事に賛成をしたいですね。

吉田 話をすると全く通じない、言って聞かそうとしても通じない子達です。その子達の手を取つて

「これはこうですよ、こうやって植えよう。」と言つたら喜んで植えるわけですよ。

非常に失礼な言い方ですが、この子達は将来立派な人間になれない子達なんです。10歳にもなっていない子供で脳に障害が有るために、僕たちが死んでもあの牢屋の中で「ガーア。」と言って一生暮らすわけですよ。長生きする子も少ないので、このまま30、40才になってもあの牢屋の中で何も悪いことをしていないのに暮らさなければならない。大人は悪い事をすると牢屋に入りますが、その子達はそうじゃないですから。そういう子達を見て喜ぶんじゃなくて、見て何かを思うという事も僕らには大切だと思います。

逆に勉強させて頂き、軽度な子たちと一緒に何かをすれば、普通の子を育てるのと訳が違うという事を体验して頂ければ良いのではと。

こういう事は今まで実施したことは無いですね。そういうことをやられたらいいんじゃないですか。

山下 わりと裕福な所でまともな子供達が一番育て甲斐は有るんですよ。ただ、吉田先生が言われた「今も牢屋に入っている」というような事は全然考えて無かったし、そういう世界が有る事も知りませんでした。

分かりやすく言えば特別支援学校に行ってある子供さんや、子供さんだけではなく保護者の方は特別な苦労をされていらっしゃるでしょうから、どう考えても普通の子供をもつた父兄よりは交流とかいう世界が狭くなっているように思えます。

そういうところに全く別の世界との交流が有つて、「世の中から自分たちもちゃんと見られている。孤立した世界じゃないんだ。」という気持ちを持つてもらえば、うれしいことだし、それがきっかけになって、社会問題になれば一番いいのかも知れませんが、目先が変わってその時だけでも嬉しかったという、それだけでもいいですし、そういう事に何か貢献出来ればやってみても良いのではと思います。このテーマでいけば、そういう部分に目

創立30周年記念座談会

を向けて見るので今まで無かった事だし良いのではと思います。

吉田 かわいそうな子供たちを集めてという意味ではなく、人を育てようということの新しい試みの一環としてですね。

山下 あまり深く関わると時間もとられて無理ですから、そこまでする必要はないけれども、いつも別の世界の人が見守っているという部分があればいいのかなと思います。

小副川 どちらかというと、今までは日のあたる所の世界に我々ロータリーは接してきている。吉田先生が言られた様にもう少し日蔭の部分の所に手を差し伸べるというのもいいのかもしれない。

そこに行って一緒になって何かやるとか、一緒になつて汗をかくとか、そういうことの方がロータリーには沿っているのではないだろうかという気がします。

森本(茂) 時々来られた方に聞いてみると、「仲良くやっておられて良いクラブですね。」と言われます。

村口 オークラにメイキャップにいきましたけど、あれはまた人数が多くて名前なんかも分からんだろうなと思いますね。

森本(茂) 派閥化とかして面白くないとかいう話を聞きます。

村口 当クラブの目標は75人位で、それがマックスですかね。

吉田 大浦会長が言われているのは経営的にそれ位はほしいと言っておられるのですね。

小副川 そうですね、運営的に75人位有ると非常にやりやすい。30人以下だと役割が多いですよね。それこそずっと何かの役をやっていくなくてはいけない。

山下 今は65人くらいですか。

小副川 なかなか70を超えないです。

吉田 70人位が丁度良いんでしょうね。

森本(茂) 一度だけ70人を超えた事が有りますよね。

小副川 あくまでもクラブ単位で決めて行くという事ですから、奉仕活動も自分たちで選択していくという事で縛りはありません。私は魅力ある北ロータリークラブに向かってという事は、今までやってな

い試みにもっとチャレンジして行くという風なクラブであっても良いんじゃないかなと思います。

吉田さんがああいう場所で夜間例会をやったというのも一つの試みだと思います。やってみないと分からぬじゃないですか。結構喜んでいる人もいたわけですから、こんな事も良いなと思う事であつて。

吉田 えらく怒られましたもん、私の入会の推薦者である中野先生に「何を考えているお前。」と下の喫茶店で1時間位怒られました。

村口 話題になって良いじゃないですか。ある程度形が決まったことの話ばかりじゃ実際飽きますもん、いつも金太郎飴みたいな行事ばっかりではね。時代と共に評価も変わりますよね。

森本(茂) 以前、夜間例会で原鶴温泉に行ったんですが、そのときはパストガバナーの新家さんにお叱りを受け、その後1年間は夜間例会を自粛しました。

小副川 酒を出すのはおかしい、というそういう考え方の方で、この方はロータリーの生き字引のような方で、ライラセミナーを2700地区に導入された筋金入りのロータリアンなんです。その方が言い出したら誰も何も言えない。絶対的な人でした。

岐部 僕なんか話をしたこともない。僕もずっと前から加入させてもらっていたが、あのころは2.26事件の生き残りの方が会長をされていたり、とても偉い人が会員におられました。

小副川 そういう点で今の北ロータリーは上からガサッと抑える方が居ないし、先ほど言った百何十人いる所はそういう方がごそっと居る。そういう面ではこの福岡北ロータリーは自由な精神が尊ばれて実行されていると思います。

森本(茂) 森本さん、何か一つ纏めでもないんですけど話してもらえませんか。



森本(裕) 「伝統を重んじるのか、変革していくのか」ということに対する皆さんの中の選択というか、変えるという事に関して抵抗のある人もおられると思いますし、伝統があるということは大切なことであると思いますので、

創立30周年記念座談会

その辺りをどうやって行くのかなと考えていました。

会員全員の意思統一をして変化するのか、それとも元々のルールに従っていくべきか私としても考えないといけないとこかなと、今日の話を聞かせていただいて感じました。ただ、やっぱり個人的に言わせて頂くと、僕は変わっていくのが良いのかなという気がしているので、その辺を大人としての集まりでどう折り合いをつけていくかという事、その必要があるのかなと私はそういう気がしました。

村口 そういう時に、私がいつも思うのは四つのテストとかがあるじゃないですか。四つの奉仕に流れている考え方に戻れるようにしておけば、時代と共に変わっていいって良いのではないかと。一業種一名というルールも拡大解釈して今のような流れが有ると思いますので、原点に則りながら変わっていいって、問題が起きたら原点に返るという形が有れば良いのではないでしょうか。

森本(茂) あと5分程ありますので、もう一言ずつ位いかがでしょうか。

廣瀬 私は原点というのはポール・ハリスがクラブを作った経緯が、淋しい思いをしたという事でこの会を作ったという事が本に書いてありました。経営者の皆さんは基本的に孤独だと思うんですよね。相談相手が居るようでいない、腹を割って相談したりする人が身近にいないと。まだ入られて無い異業種の方が一杯いらっしゃいます。そういう方々を温かく迎え入れる雰囲気は北ロータリークラブは充分有っていると思います。

そういう輪を、もっともっと知らない方、ロータリーを誤解されている方に伝えていくことが大切だと思います。自分が年齢を問わず、そういう方々と一緒に今後仕事・プライベートにおいて、色々な形で生涯の友というようなつきあい、が出来ていけば有りがたい組織だなと感じています。

森本(茂) 平野代表が亡くなられた後、奥様がご挨拶に来られたのですが、「主人はロータリークラブに行く時が一番ホットする時間であったみたいです。」とおっしゃってました。それでは時間になりま

したので、最後に委員長お願ひします。

小副川 伝統というものは非常に大事なもの。それをどうやって時代に合わせていくか。北ロータリーがどうやって変わっていくか、この10余年で目指して頂ければと私は思いますし、私もたまたまチャーターメンバーという事で、10周年20周年30周年を経験させて頂きましたけれど、色々な意味で北ロータリーは変わってきてています。本当にフレンドリーな、本当に仲の良い一つの大家族の様な福岡北ロータリークラブというのを感じてますし、北ロータリークラブらしさが逆に他のロータリークラブに影響を与えるようなそういう変化を求めていく、そういうクラブを目指して行ってほしいと思います。

75名位が丁度良いんですよ。フットワークの良い福岡北ロータリークラブという事で何かチャレンジをしていくってほしいなと私は思っています。

森本(茂) 有難うございました。これをもちまして拙い司会でございましたが、終わらせて頂きます。

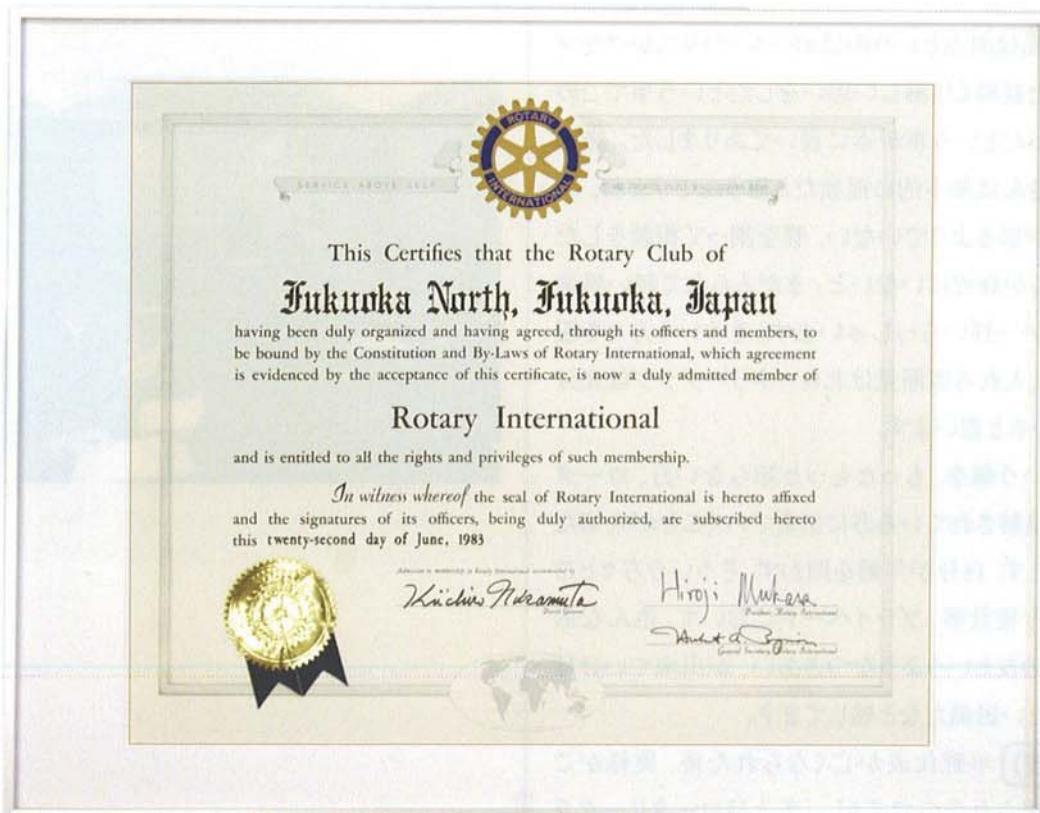


福岡北ロータリークラブ創立縁起

福岡地区に新しいクラブを作ろうという動きが、1981年(S56)に高まり、翌1982年(S57)11月に、中牟田ガバナーから、故平野桂樹氏に特別代表の辞令があり、正式に設立準備が始まった。パストガバナーで福岡中央R.C.の特別代表でもあった故新家忠男氏も加わり、その指導のもと福岡城西R.C.から6人の賛同者を得て、この方々がキーマンとなって新クラブの構想が検討された。

質素で経費をあまりかけず、内容は充実したクラブを作ることになった。運営は簡素でも、ロータリーの精神は高く掲げ、奉仕の理想を求める「手づくりクラブ」福岡北R.C.は50人の会員でスタートし、1983年(S58)6月22日にR.I.の認証を受け、誕生した。

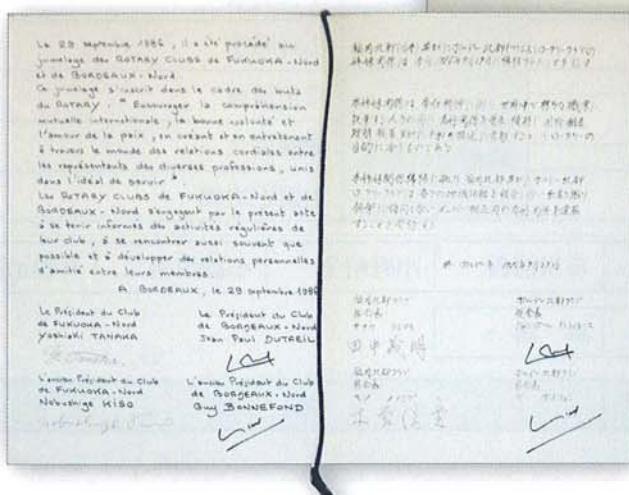
認 証 状



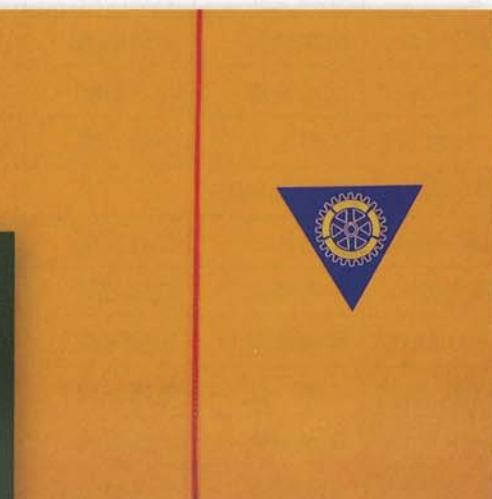
■姉妹クラブ協定書

姉妹クラブ協定書

ボルドー北RC(フランス)



高雄中興扶輪社(台灣)



■福岡北ロータリークラブ組織一覧表

2012~2013年度 福岡北ロータリークラブ 組織一覧表

役 員		理 事	
会長	大浦純平	2011-2013 理事	大浦純平
副会長	鐘川邦次朗		梶原正成
幹事	市川清貴		小牧徹志
会計	衛藤信久		野村誠二
S.A.A.	山田宏次郎		大塚 弘
役員補佐		2012-2014 理事	鐘川邦次朗
副幹事	川久保邦彦		馬場田修一
副会計	井上義隆		中西勇次
副S.A.A.	野村誠二		小野昭生
役員(直前会長)	植田正男	2012-2013 職権上の理事	市川清貴
会計監査	岐部定則		衛藤信久
			山田宏次郎

若楠基金審議会委員	大浦純平	鐘川邦次朗	市川清貴	小野昭生	小副川浩二	井槌浩雄
-----------	------	-------	------	------	-------	------

地区委員	川久保邦彦	小林憲治	森 陽一
------	-------	------	------

委員会	委員長	副委員長	委 員			
クラブ奉仕A	梶原正成					
出席	相良恒久	平野敏彦	(音嶋達矢)	椎名隆行	紙野耕司	
親睦	森元 豊	立石 満	森本裕朗		安部誠司	
プログラム	廣瀬政光	井槌浩雄	山田浩之	井上賢司	阿部幸生	
ロータリーソング	北爪英雄	井上和敏	川口勝延(兼任)			
クラブ会報・広報	大野太三	小島 隆	城鼻勝次	江崎哲郎	溝辺 哲	(田中克典)
クラブ奉仕B	鐘川邦次朗					
会員選考・職業分類	福地祐一	白石正彦	葉山 孝			
会員増強	中西勇次	瓜生道明	吉田匡人	山下洋正	村口栄一	
ロータリー情報誌	篠崎勝信	小副川浩二	植田正男			
職業奉仕	大塚 弘	岐部定則	日下部隆史			
社会奉仕	馬場田修一	貞弘賢治	川口勝延			
新世代奉仕	小野昭生	金納健太郎				
RYLA	森 陽一	前田恒善	中嶋利文			
国際奉仕	小牧徹志					
ロータリー財団	岩崎明弘	山田隆一	光安直樹			
米山奨学会	森本茂雄	三嶋隆夫				
姉妹クラブ	村上泰之	小林憲治	森山桂吾	松崎裕之		

1. クラブ概況

1. クラブの発足

■創立	1983年6月3日
■承認	1983年6月22日
■承認伝達式	1983年11月5日
■創立時RI会長	向笠 広次
■創立時ガバナー	中牟田 喜一郎
■特別代表	平野 桂樹
■スポンサークラブ	福岡城西RC
■チャーターメンバー	50名
■現在会員数	62名(2012年7月1日現在)

2. 会 員

■会員数	62名
■平均年齢	61.4才
■最年長者	81才
■最年少者	37才
■年齢別会員数	80歳以上 2名 70才以上 7名 60才代 29名 50才代 19名 40才代 4名 30才代 1名

3. 事務所

〒811-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-2 ホテルニューオータニ博多5階
TEL(092) 715-6660 FAX(092) 715-6692

4. 通常例会

■例会場	〒811-1114 福岡市中央区渡辺通1-1-4 ホテルニューオータニ博多
	TEL(092) 715-6660 FAX(092) 715-6692
■例会日	毎週金曜日 12時30分～13時30分
■例会出席状況	2011年7月1日～2012年6月30日 98%
■創立以来皆勤者	ホーム例会 いません
■永年皆勤30年	小副川浩二 中西勇次 森本茂雄

5. 運営

■年次総会	年1回12月に開催。今年度は12月21日開催。
■クラブ協議会	
■通常例会(前出)	
■理事会	
■テーブル会	3ヶ月毎に各テーブルで1回開催。
■財政	クラブの会計は、当クラブ細則第10条により適正に運営されている。

【クラブ概況】

6. ロータリー財団寄付金

■ロータリー財団の友(退会会員を含む)

井植浩雄	梶原正成	岐部定則	金納健太郎	長田吉弘
中野正彬	萩原弘章	小副川浩二	篠崎勝信	白石正彦
福井紀夫	衛藤信久	衣非安章	市川清貴	井上觀光
井上義隆	小出和男	小牧徹志	日下部隆史	鐘川邦次朗
森 陽一	中嶋利文	清流 信	徳田 昇	武富一三
玉川久雄	堤 美芳	浦洋一郎	湯浅一男	大塚 弘
中西勇次	後藤元繼	福地祐一	植田正男	三島計一
森本茂雄	入佐静夫	宮崎和人	岩崎明弘	松崎裕之
山下幸久	前田昌三	武田守正	勝浦 勝	水城 肇
田中征夫	瀬古 健	久保田通	上村正勝	衛藤信久
有吉隆彌	直江延明	西村松次	小島 隆	岐部定則
古森務司	音嶋達矢	三島計一	小野昭生	山田隆一
山田浩之	田中克典	小林憲治	相良恒久	野村誠二
川久保邦彦				

■ポール・ハリス・フェロー(退会会員含む)

間 直樹	梶吉憲一	荒木 勉	福地祐一	亀崎重則
香月 孝	本田 恵	岩崎明弘	松岡弘則	神代啓司
前田三男	光安直樹	溝部浩三	森 政孝	中村正義
大塚嘉博	大浦純平	重松 勝	新家忠男	武元和博
矢野正彦	矢野羊祐	古川 穀	横山憲一	井上賢司
藤谷繁樹	城戸英喜	宮武康夫	森 陽一	山下裕彦
武富一三	奥井洋輝	樋口勝彦		

■ポール・ハリス準フェロー

三嶋隆夫 山田隆一

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(退会会員含む)

平野桂樹	平田重成	木曾信重	宮崎和人	久保田通
村上泰之	貞弘賢治	篠崎勝信	中野正彬	後藤元繼

■ベネファクター(退会会員含む)

有田昭穂 葉山 孝 宮丸貞三 久保田通 中野正彬

7. ロータリー米山記念奨学金寄付金

■米山功労者(退会会員を含む)

石松順禧	木曾信重	重松 勝	田中義明	武元和博
中野正彬(メジャードナー)			福泉喜久夫	松岡弘則
溝部浩三	村上泰之	(株)ミスター・マックス		森山武生
矢野羊祐	山田隆一	三嶋隆夫	大浦純平	久保田通
森本茂雄	高尾 勝	城戸英喜	三島計一	岩崎明弘
福地祐一	矢野正彦	金納健太郎	貞弘賢治	植田正男

■米山寄付者(退会会員を含む)

三嶋隆夫	小林憲治	白石正彦	重松正信	井上義隆
梶原正成	川久保邦彦	岐部定則	小牧徹志	小嶋 隆
日下部隆史	松崎裕之	西村松次	大塚 弘	堤 美芳
植田正男	上村正勝	山田宏次郎	森山桂吾	瀬古 健
有吉隆彌	小副川浩二	廣瀬政光	鐘川邦次朗	森 陽一
小野昭生	篠崎勝信	瓜生道明	山田浩之	山田隆一

■メモリアル・コントリビューター

森千寿子(政孝夫人) 大浦仁子(大浦純平 母上)

■クラブ概況

8. 出版物

- クラブ会報 毎週発行(例会休会週を除く)
- その他 会員名簿(2年に1回ほど)
冊子「職業奉仕」(岩崎明弘著)
創立20周年記念として「子どもたちへ(歴史に学ぶ思いやりの心)」

9. 当クラブでの地区役員及び地区表彰

- 地区役員 小林 憲治(RYLA・青少年育成委員会委員)
川久保邦彦(RYLA・青少年育成委員会委員)
森 陽一(職業奉仕委員会)
- ガバナー賞受賞 1回目受賞(2004年4月地区大会にて)
冊子「子供たちへ」～歴史に学ぶ思いやりの心～ 1万3千冊作成、
福岡市内の小学校147校へ配布。
2回目受賞(2011年4月地区大会にて)
①福岡市中央区西公園の桜再生事業(2010年春より3年間)
②福岡市立野間中学校へ本の贈呈事業(2009年より3年間)
- 米山功労クラブ 表彰15回
- 出席優秀クラブ 1位(2000-2001年度・2002-2003年度)
3位(2009-2010年度)
- 会員増強優秀クラブ表彰 (2002-2003年度)
(2010-2011年度)

10. 地区大会 コ・ホストクラブ 1993~94 年度

- 大会副委員長 有田 昭穂
- 大会副幹事 小副川 浩二

11. 地区大会ホストクラブ 1995~96 年度

- 1996年4月(アクロス福岡)全員総力で運営に当たりました。
- 大会実行委員長 葉山 孝
- 大会幹事 岩崎 明弘

12. ガバナー補佐 (名称が現在とは異なります)

- 1996-97年度 葉山 孝(RI第2700地区第3分区代理)
- 2009-10年度 中野正彬(RI第2700地区第5グループガバナー補佐)

13. 姉妹クラブ

- フランス ポルドー北ロータリークラブ(1986.9.29調印)
- 台湾 台湾高雄中興ロータリークラブ(1997.3.8調印)

14. クラブ内サークルなど

ゴルフ同好会・野球同好会

■クラブ概況



▲ゴルフ同好会

平成24年(2012)、12月9日(日)、ザ・クラシックゴルフクラブにて。
大荒れの天候の中、戦い抜いた参加メンバーの皆さん。



見事優勝!!
森山 桂吾 会員



▲野球同好会

平成24年12月2日(日)久留米での試合前に。



▲福岡ドーム球場で記念撮影



▲試合前、中嶋キャプテンより「気合」

|姉妹クラブについて



国際奉仕委員長
小牧 徹志

福岡北ロータリークラブの創立30周年記念にあたり担当させて頂いている姉妹クラブについてご紹介致します。

私が金納前総合メディカル社長にお誘い頂き当クラブに入会してから、やがて10年が経過しようとしています。入会後、姉妹クラブ委員長であった村上泰之元会長に「台湾に行きませんか?」とお声を掛けて頂いた事がご縁で生まれて初めてご当地を訪ねることになり、高雄中興RCの皆様の熱烈的歓迎や地元の人々の元気さや優しさに触れて、すっかり台湾高雄のファンになってしまいました。後のページでご紹介しているアルバムで小林、川久保両会員の間に写つておられる故・堤美芳さんには昼も夜もご一緒に頂き大変楽しい旅行となりました。多彩な趣味をお持ちでいつもにこやかな笑顔の万年青年でした。30周年記念のお祝いを前にお亡くなりなった事、本当に残念でなりません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

村上泰之委員長、松崎裕之委員、そして重鎮の山田浩之会員と共に、現在でもこうして姉妹クラブの仕事をさせて頂き、大変、光栄に思っております。

特に、高雄中興RC前会長の陳信寰氏は親日家の多い高雄でも大の親日家で、自ら、小学生の頃から日本古来の剣道を学び、宮本武蔵二天下一流の第十一代宗家、社団法人高雄市剣道文化促進会理事長、剣道教士八段という筋金入りの侍であります。

我々が高雄を訪問した際にも、RC会員や家族総出で大歓迎して頂き、311東日本大震災後には直ちに義援金をRC及び高雄での国際社会人剣道大会で募金して送金して下さいました。日本統治時代に建造された武徳館を道場として大切に守り、道場内には震災の写真を掲げて日本への応援をしてくれている様には大変感動させられました。そして、今年もまた彼の武徳殿で日本支援の剣道大会が開催されております。實に感謝に堪えません。

2010年秋の訪問時には、戦前に八田與一技師が苦労に苦労を重ねて完成させたという「烏山頭ダム」を訪れましたが、雨の中を地元の人々と出会うと、“JAPAN IS GREAT!”と大きな声を掛けてくれたのが印象的であります。戦前に台湾の近代化に骨を折って、水利を開発し、農業の飛躍的発展や衛生改善による病の激減に貢献した日本人を賛えて、我々を励ましているようでした。

次のページに姉妹クラブの歴史をご紹介しましたが、当時の台湾からの米山獎学生のご縁で高雄中興RCとの姉妹クラブが締結されて15年経過しました。その間、7回ほど訪問し、先方からも数回来訪がありました。当初はやや儀礼的な面もありましたが、交流を重ねるうちに、お互いに尊敬し合い親しみを感じるようになりました。今では公私にわたり交流が深まってまいりました。戴明宗前社長ご夫妻も大変な親日家で当クラブ会員の皆様とも温かなお付き合いをさせて頂いております。昨年は高雄中興RCの20周年記念式典に訪問し周育丞社長(会長)始め中興社の皆様にお世話になりました。そして、本年は当クラブの創立30周年を迎え、張榮輝社長(会長)を始め約30名の方々がお祝いに来訪され懇親を深めます。今後とも、益々お互いが切磋琢磨して相互理解し、国際親善を深めて、親しく交流したいと熱望しております。

最後に「感謝台湾高雄中興扶輪社!」の言葉で締め括りたいと思います。

【高雄中興扶輪社(RC)との交流の歴史】

高雄中興扶輪社(RC)との交流の歴史

	福岡北 訪問者数	高雄中興 來訪者数
1997年 3月 8日 姉妹クラブ契約調印		
1999年 3月12日～ 高雄中興RC7周年式典に参加	9名	
1999年 9月 台湾中部地域大震災 被災地の埔里キリスト病院に救急車寄贈 ※当クラブ義援金による支援		
2000年 4月 7日～ 高雄中興RC8周年会参加 (感染症流行により中止)		
2002年 5月 3日 高雄中興RC創立10周年で訪問	17名	
2004年 5月21日 高雄中興RCより 表敬來訪		8名
2006年 3月 3日～ 高雄中興RCへ表敬訪問	7名	
2007年 3月15日～ 高雄中興RC創立15周年で訪問	11名	
2008年 6月 6日 福岡北RC創立25周年で中興RC來訪		23名
2010年 11月3日～ 高雄中興RCへ親善訪問	17名	
2011年 3月 高雄中興RCより東日本大震災に義捐金を贈呈 (会より30万円、陳会長より30万円)		
2012年 3月30日～ 高雄中興RC創立20周年で親善訪問 10月21日 高雄中興RC元会長有志親善訪問	23名	5名
2013年 4月 5日～ 福岡北RC創立30周年記念に中興RC來訪予定		32名



▲2012年3月30日～4月1日 中興RC創立20周年親善訪問。新幹線の駅で大歓迎。記念撮影

|姉妹クラブ交流アルバム



▲2006年3月 表敬訪問。左から川久保、堤、小林、小牧各会員



▲2012年3月 小牧会員、植田会長、陳前会長



▲2010年11月 台南烏山頭ダムにて。小牧会員



▲2010年11月 貞弘会長、陳会長と共に打鐘



▲陳会長よりバナーを頂く貞弘会長



▲2010年11月 武徳殿玄関にて。



▲陳会長より村上元会長に記念品贈呈。



▲高雄中興RC創立20周年記念式典で祝辞を述べる植田会長(2012.3.30)



▲式典会場 ホテル玄関前で記念撮影



▲左から小牧、ジョージこと周さん、野村、村上各会員



▲松崎、小牧会員ツーショット



▲2010年11月4日 武徳殿案内板前で陳会長の説明に聞き入る有志。



▲武徳殿前(?)何を見上げていたのか？



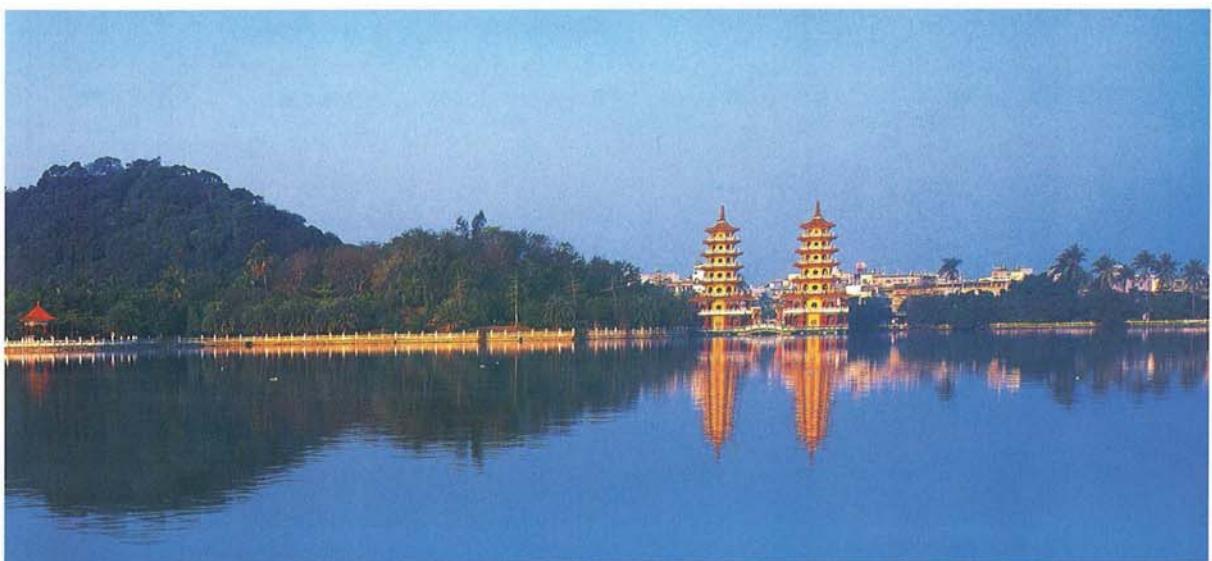
▲2011年11月 懇親会場で松崎会員何をスピーチしていたのかな？！

|姉妹クラブ交流アルバム

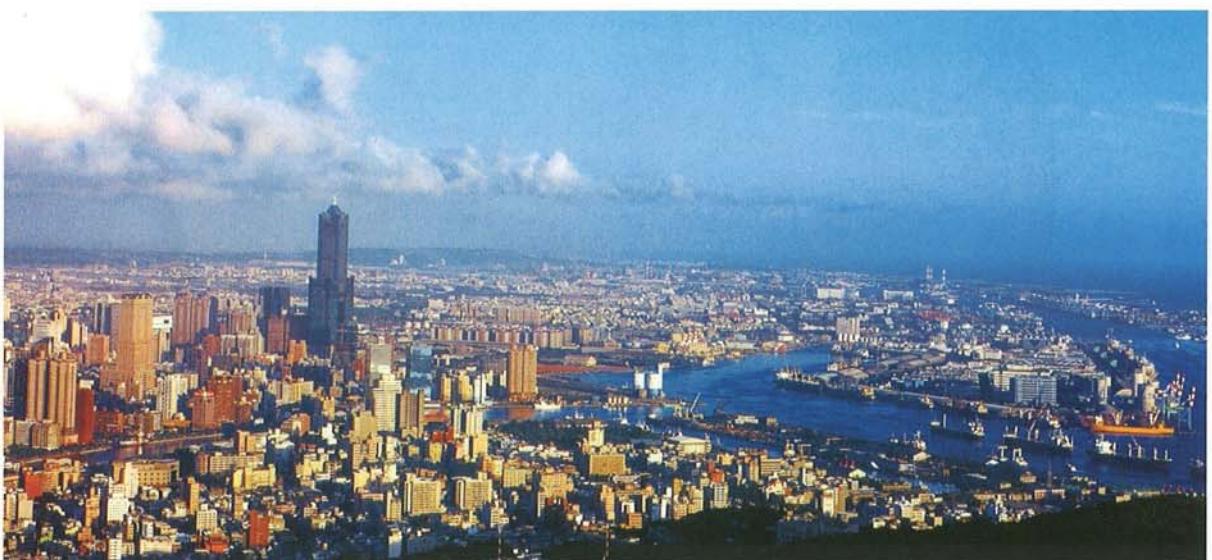


2010.11.04

▲陳会長(台湾武藏)主管の剣道場「武徳殿」にて。貞弘会長他で表敬訪問。



▲高雄の風景(蓮池潭)



▲高雄市遠景

130年の歩み

1983.7～1984.6

クラブの主な活動

■会長 常盤 稔	1983 (S58)	6.3 北RC創立総会
■幹事 若狭 信之		6.3 常盤稔会長・若狭信之幹事就任(1983-84年度)
■会計 宮崎 和人		6.10 第1回例会
■S.A.A 三浦 博生		6.22 RIより承認される
■会員数 65名	1984 (S59)	11.5 認証状伝達式 5.4 RYLAセミナーのホストクラブを務める

1984.7～1985.6

クラブの主な活動

■会長 木曾 信重	7.1 木曾信重会長・上田謙太郎幹事就任(1984-85年度)
■幹事 上田 謙太郎	12.2 福岡第14回ボイスカウト結団式 (チャーターナイト記念事業として)
■会計 後藤 豊彦	
■S.A.A 野中 秀幹	
■会員数 69名	

1985.7～1986.6

クラブの主な活動

■会長 新家 忠男	7.1 新家忠男会長・平野桂樹幹事就任(1985-86年度)
■幹事 平野 桂樹	9.28 270地区会員増強セミナーのホストクラブを務める
■会計 後藤 豊彦	1986 (S61) 5. 米山獎学生朴鉉諱君の世話クラブとなる
■S.A.A 宮崎 和人	
■会員数 72名	

1986.7～1987.6

クラブの主な活動

■会長 田中 義明	7.1 田中義明会長・灰田洋一幹事就任(1986-87年度)
■幹事 灰田 洋一	9. 米山獎学生鄭兆宏君の世話クラブとなる
■会計 渡辺 武彦	9.29 ボルドー北ロータリークラブとの姉妹クラブ協定調印
■S.A.A 森山 武生	
■会員数 74名	

1987.7～1988.6

クラブの主な活動

■会長 平野 桂樹	7.1 平野植樹会長・若狭信之幹事就任(1987-88年度)
■幹事 若狭 信之	11.22 IGFのホストクラブを務める
■会計 播本 誠	交換留学生サクマ・カルラ・ミエさん受入
■S.A.A 平山 喜丈	
■会員数 68名	

30年の歩み

1988.7～1989.6

クラブの主な活動

■会長 溝部 浩三
■幹事 篠崎 勝信
■会計 播本 誠
■S.A.A 上田 謙太郎
■会員数 75名

1989 (H1)

- 7.1 溝部浩三会長・篠崎勝信幹事就任(1988-89年度)
11.3 ボーイスカウト福岡第14回5周年記念式典
米山獎学生陣奇君の世話クラブとなる
11.20 IGFのコ・ホストクラブを務める
2. 交換留学生ヤマサキ・エリーアーネ・ミチコさん受入
4.1 第10回ライラセミナー・ホストクラブを務める(瀧光徳寺)
5.26 ポルドー北RC次期会長ボリデス君例会出席

1989.7～1990.6

クラブの主な活動

■会長 大塚 嘉博
■幹事 宮崎 和人
■会計 渡辺 武彦
■S.A.A 貞弘 賢治

1990 (H2)

- 7.1 大塚嘉博会長・宮崎和人幹事就任(1989-90年度)
2.2 九州日仏学館々長ミシェル・ルーヨ氏名誉会員となる

■会員数 69人

1990.7～1991.6

クラブの主な活動

■会長 本田 恵
■幹事 重松 勝
■会計 川下 武徳
■S.A.A 手塚 裕一

1991(H3)

7. 本田恵会長・重松勝幹事就任(1990-91年度)
2. 交換奨学生サクマ・マルセル・イズミ君受入
5. 米山獎学生文一智君の世話クラブとなる

■会員数 70名

1991.7～1992.6

クラブの主な活動

■会長 荒木 勉
■幹事 中野 正彬
■会計 八尋 四郎
■S.A.A 藤谷 繁樹

1992 (H4)

- 7.1 荒木勉会長・中野正彬幹事就任(1991-92年度)
4. 事務局にFAXが入る

■会員数 66名

1992.7～1993.6

クラブの主な活動

■会長 前田 三男
■幹事 高尾 勝
■会計 播本 誠
■S.A.A 岩崎 明弘

1993 (H5)

- 7.1 前田三男会長・高尾勝幹事就任(1992-93年度)
10. 交換留学生アナバウラ・サクラメント吉河さん受入
11. 前田会長が病のため葉山副会長が代行を務める
6.4 創立10周年記念式典

■会員数 69名

130年の歩み

1993.7～1994.6

クラブの主な活動

■会長 葉山 孝	7.1 葉山孝会長・小副川浩二幹事就任(1993-94年度)
■幹事 小副川 浩二	米山留学生車炳玘君の世話クラブとなる
■会計 播本 誠	8.27 国府敏男ガバナー公式訪問
■S.A.A 中野 正彬	4.16 第15回ライラセミナー(玄海青年の家)
■会員数 63名	4.23 2700地区93-94年度地区大会コ・ホストクラブを務める

1994.7～1995.6

クラブの主な活動

■会長 有田 昭穂	7.1 有田昭穂会長・重岡太郎幹事就任(1994-95年度)
■幹事 重岡 太郎	9.2 片岸修次ガバナー公式訪問
■会計 江副 昌邦	1995 (H7) 3.31 米山留学生車炳玘君終了の挨拶
■S.A.A 中西 勇次	4.1 第16回ライラセミナー(玄海青年の家)
■会員数 66名	6. 米山特別奨学生吳銘芳君の世話クラブとなる

1995.7～1996.6

クラブの主な活動

■会長 宮丸 貞三	7.1 宮丸貞三会長・武元和博幹事就任(1995-96年度)
■幹事 武元 和博	青少年バレー ボール大会の後援RCとなる
■会計 田中 一隆	1996 (H8) 4.2 2700地区95-96年度地区大会ホストクラブを務める
■S.A.A 矢野 正彦	(アクロス福岡)
■会員数 64名	4.13 第17回ライラセミナー(玄海青年の家)
	5.24 米山留学生劉偉さんの世話クラブとなる
	6. 子供病院「そらまめ会」に若楠基金から助成金贈呈

1996.7～1997.6

クラブの主な活動

■会長 香月 隆	7.1 香月隆会長・間直樹幹事就任(1996-97年度)
■幹事 間 直樹	葉山孝会員が2700地区第3分区代理に就任
■会計 岐部 定則	1997 (H9) 2.22 96-97年度第3分区・IMのホストクラブを務める(西日本銀行)
■S.A.A 梶原 正成	3.8 高雄中興ロータリークラブとの姉妹クラブ協定調印(高雄) 28名が訪台し、調印式、同クラブの5周年記念式典に出席
■会員数 58名	4.19 2700地区96-97年度地区大会で表彰される (米山功労クラブ賞、ロータリー財団寄付優秀賞、出席優秀賞)
	5. 子供病院「そらまめ会」に若楠基金から助成金贈呈
	6.17 ポーイスカウト第14回富士賞授与報告

1997.7～1998.6

クラブの主な活動

■会長 亀崎 重則	7.1 亀崎重則会長・久保田通幹事就任(1997-98年度)
■幹事 久保田 通	10.11 RIキンロス会長来福
■会計 田中 一隆	1.23 ポール・ハリス没後50年献花式
■S.A.A 大塚 弘	2.27 中国語勉強会最終講座
■会員数 57名	3.6 ミシェル・ルーヨ名誉会員の離日挨拶 97-98年米山留学生劉偉さん終了の挨拶
	4. 米山奨学生金培懿さんの世話クラブとなる
	4.25 2700地区97-98年度地区大会/出席優秀賞、米山功労クラブ賞を受賞
	6.5 15周年記念式典

30年の歩み

1998.7～1999.6

クラブの主な活動

■会長 森本 茂雄
■幹事 矢野 正彦
■会計 田中 一隆
■S.A.A 横山 憲一

■会員数 48名

1999(H11)

- 7.1 森本茂雄会長・矢野正彦幹事就任(1998-99年度)
- 7.24 「パソコン教室」始まる 於NTT西新営業所
- 2. 事務局にパソコンを設置
- 3.12 高雄中興RC7周年記念式典9名参加
- 4.17 2700地区98-99年度地区大会
出席優秀賞、ロータリー財団寄付優秀賞を受賞
- 6. 例会出席100%を達成

1999.7～2000.6

クラブの主な活動

■会長 三島 計一
■幹事 大浦 純平
■会計 井上 宣孝
■S.A.A 植田 正男

■会員数 53名

2000(H12)

- 7.1 三島計一会長・大浦純平幹事就任(1999-2000年度)
週報がB5からA4に、またパソコンによる手作りになる
- 11.28 台湾地震被災地への救急車贈呈式(三島会長出席)
- 3.24 米山奨学生洪英さん学位取得・送別会
- 4. 2700地区99-2000年度地区大会
出席優秀賞・会員増強優秀賞を受賞
- 6.23 100万ドルの食事を実地(7月より月末例会日)
- 6. 例会出席100%を達成(2年間)

2000.7～2001.6

クラブの主な活動

■会長 岩崎 明弘
■幹事 吉田 征喜
■会計 井上 宣孝
■S.A.A 長田 吉弘

■会員数 53名

2000(H13)

- 7.1 岩崎明弘会長・吉田征喜幹事就任(2000-01年度)
- 12.22 卓話「20世紀最後の話」
- 4. 米山奨学生洪英さん(中国)の世話クラブとなる
- 4.15 2700地区00-01年度地区大会
出席優秀賞を受賞
- 5.11 慶弔規定をもうける
- 6. 例会出席100%を達成(3年間)

2001.7～2002.6

クラブの主な活動

■会長 福地 祐一
■幹事 勝浦 勝
■会計 井上 義隆
■S.A.A 後藤 元継

■会員数 53名

2002(H14)

- 7.1 福地祐一会長・勝浦勝幹事就任(2001-02年度)
- 7.13 洪英さんによる中国語講座開始
- 4.6 第23回ライラセミナー(夜須高原青少年自然の家)
- 5.3 台湾高雄中興RC10周年記念式典 会員17名参加
- 6. 例会出席100%を達成(4年間)

2002.7～2003.6

クラブの主な活動

■会長 村上 泰之
■幹事 貞弘 賢治
■会計 井上 義隆
■S.A.A 小副川 浩二

■会員数 54名

2003(H15)

- 7.1 村上泰之会長・貞弘賢治幹事就任(2002-03年度)
旅行同好会、麻雀同好会が作られる
- 9.13 新会員4名が同時入会
- 3.7 例会場移転問題についてのクラブ協議会
- 4.19 2700地区02-03年度地区大会
出席優秀賞を受賞
- 6.7 創立20周年記念成人式(西鉄グランドホテル)

130年の歩み

2003.7~2004.6

クラブの主な活動

■会長 篠崎 勝信
■幹事 横山 憲一
■会計 井上 義隆
■S.A.A 光安 直樹

■会員数 61名

- | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2003(H15) | 7.1 篠崎勝信会長・横山憲一幹事就任(2003-04年度)
8. たちばな作業所へ依頼の布巾1,450枚・エプロン150枚
福岡友の会を通じ、9ヶ所へ配布(一回目)
9. ・冊子「子どもたちへ」第1回感想文コンクール応募要項配布
・例会場移転検討委員会開催 |
| 2004(H16) | 2.2 「1000回例会」
2.14 I.M(ホストクラブを務める)
4.24~25 地区大会(福岡国際会議場)
ガバナー特別賞受賞(20周年記念事業活動に対して) |

2004.7~2005.6

クラブの主な活動

■会長 中野 正彬
■幹事 梶原 正成
■会計 衛藤 信久
■S.A.A 川口 勝延

■会員数 59名

- | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2005(H17) | 7.1 中野正彬会長・梶原正成幹事就任(2004-05年度)
9. たちばな作業所へ依頼の布巾1,000枚・エプロン150枚
福岡友の会を通じ施設へ配布(2回目)
「第2回感想文コンクール」応募期間延期(1月末まで) |
| 2005(H17) | 2.22 感想文最終審査会
優秀賞8名・入賞16名・学校賞1校
3. 劉偉さん(元米山奨学生)来福
6.3 創立記念例会(ゲスト/中村正義氏・香月隆氏・武元和博氏) |

2005.7~2006.6

クラブの主な活動

■会長 小副川 浩二
■幹事 大塚 弘
■会計 衛藤 信久
■S.A.A 井槌 浩雄

■会員数 54名

- | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2006(H18) | 7.1 小副川浩二会長・大塚弘幹事就任(2005-06年度)
中野正彬会員によりピアノ寄贈
10. たちばな作業所へ依頼の布巾1,000枚・福岡友の会を通じ施設へ配布(3回目)
11.3 職場訪問(アイランド花どんたく)
11.21 「第3回感想文コンクール」最終審査会 優秀賞6名・入賞12名・学校賞1校
12.11 ガバナー杯争奪野球大会に初参加
2.13 事務所移転(天神パインクレストへ)
3.3 高雄中興RCを訪問(7名) |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2006.7~2007.6

クラブの主な活動

■会長 後藤 元継
■幹事 久保田 通
■会計 衛藤 信久
■S.A.A 鐘川 邦次朗

■会員数 58名

- | | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2007(H19) | 7.1 後藤元継会長・久保田通幹事就任(2006-07年度)
11. たちばな作業所へ依頼の布巾1,000枚・福岡友の会を通じ施設へ配布(4回目)
11.27 「第4回感想文コンクール」最終審査会 優秀賞5名・入賞12名・学校賞1校
3.3 イベラヒム君(米山奨学生)学位取得で例会出席学位記披露
3.16 台湾高尾中興RC創立15周年式典列席(9名)
5. イベラヒム君父兄入院治療費カンパ
6.8 バイキングスタイルランチ試行 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2007.7~2008.6

クラブの主な活動

■会長 光安 直樹
■幹事 植田 正男
■会計 井上 義隆
■S.A.A 小林 憲治

■会員数 59名

- | | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2008(H20) | 7.1 光安直樹会長・植田正男幹事就任(2007-08年度)
10. 「第5回感想文コンクール」応募受付中
12.5 「第5回感想文コンクール」最終審査会
優秀賞5名・入賞10名・学校賞1校
12.7 第5回ガバナー杯野球大会(久留米市宝満野球場)
1. 第14回米山功労クラブ感謝状授与
2.23 ロータリー創立103周年記念日
6.6 福岡北ロータリークラブ創立25周年(西鉄グランドホテルにて) |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

30年の歩み

2008.7~2009.6

クラブの主な活動

■会長 梶原 正成	7.1 梶原正成会長・鐘川邦次朗幹事就任(2008-09年度)
■幹事 鐘川 邦次朗	12.7 第6回ガバナー杯野球大会(久留米市宝満野球場)
■会計 衛藤 信久	2009(H21) 4. 米山獎学生として沈佑炫(シム・ウヒョン 韓国)君を迎える
■S.A.A 川久保 邦彦	4.18~19 地区大会(大川市文化センター) 米山寄付累計2千万円達成クラブの表彰を受ける
■会員数 60名	

2009.7~2010.6

クラブの主な活動

■会長 白石 正彦	7.1 白石正彦会長・井植浩雄幹事就任(2009-10年度)
■幹事 井植 浩雄	11.6 第1回福岡市立野間中学校へ若楠基金より図書贈呈(3年間事業)
■会計 衛藤 信久	11.8 第7回ガバナー杯争奪野球大会(北九州市民球場)
■S.A.A 井上 賢司	12.4 例会場移転を理事会にて承認
■会員数 61名	2010(H22) 1.23 IMのホストクラブを務める(NCB経営情報サービス会議室) 3.7 ボーイスカウト福岡第14回30キロハイク(会員5名参加) 4.9 新例会場ホテルニューオータニ博多での初例会 4.20 西公園桜再生事業 第1回目植樹(福岡教育大附属小学校4年生と)※3年事業

2010.7~2011.6

クラブの主な活動

■会長 貞弘 賢治	7.1 貞弘賢治会長・中西勇次幹事就任(2010-11年度)
■幹事 中西 勇次	7.5 事務局を天神パインクレストからニューオータニ博多5階に移転
■会計 井上 義隆	11.3~6 姉妹クラブ中興RC訪問(会員14名&婦人3名)
■S.A.A 市川 清貴	2011(H23) 1.14 沈佑炫氏(米山獎学生)卓話 2. 第15回米山功労クラブの表彰を受ける(前年12月末累計額1502万円) 4. 台湾中興RCより東日本大震災義援金(29万4500円) 日本赤十字社へ 4.16 西公園桜再生事業 第2回目植樹
■会員数 56名	

2011.7~2012.6

クラブの主な活動

■会長 植田 正男	7.1 植田正男会長・小林憲治幹事就任(2011-12年度)
■幹事 小林 憲治	12.4 第9回ガバナー杯争奪野球大会(久留米市宝満野球場)
■会計 井上 義隆	2012(H24) 3.23 第3回福岡市立野間中学校へ若楠基金より図書目録贈呈式 熊沢一成君・井上茉奈さん本人による読書感想発表
■S.A.A 中嶋 利文	3.30~31 姉妹クラブ中興RC20周年出席(会員21名&婦人4名) 4. 米山獎学生として朴佳榮(パク・カヨン 韓国)さんを迎える
■会員数 64名	4.14~15 地区大会(福岡国際会議場) 会員増強優秀クラブ第2位(2010-11年度)の表彰を受ける

2012.7~2013.6

クラブの主な活動

■会長 大浦 純平	7.1 大浦純平会長・市川清貴幹事就任(2012-13年度)
■幹事 市川 清貴	7.14 筑後地方大洪水
■会計 衛藤 信久	9.17 博多イブニングロータリークラブRI加盟認証伝達式
■S.A.A 山田 宏次郎	
■会員数 62名	

福岡北ロータリークラブ 創立30周年によせて



日本ボイスカウト
福岡第14団
団委員長
坂本 宣由

この度、福岡北ロータリークラブ創立30周年をお迎えになり、誠におめでとうございます、心よりお喜び申し上げます。

私たちのボイスカウト福岡第14団は福岡北ロータリークラブ創立時に記念事業として昭和59年12月に発団し今年で30周年を迎えることが出来ました。

発団以降30年間の長きに亘り御支援頂きありがとうございます。14団が現在存続しているのも福岡北ロータリークラブ様のお陰であると深く感謝する次第です。

又、活動の中で特に60キロハイク・30キロハイク等にも御支援・御参加を頂き子供達に多くの経験と感動を与える事が出来ております事についても感謝する次第です。

昨年は菊スカウトが2名、田原ベンチャースカウトが福岡県代表として韓日フォーラムに参加し韓国遠征に行きボイスカウト最高位の富士スカウトに進級しました。3月の東北大震災時には14団全員で募金活動を行い義援金を送ることが出来ました。少しずつではありますがより良き社会人の育成が出来てきたのではないかと思っています。

さて、子供達を取り巻く環境は大きく変化しています、ボイスカウトでは家庭、学校ではなかなか学べないさまざまな活動を自然の中で、年齢の異なる

仲間と行うことで、青少年の健全な心と体を育てています。

今後、ますます我々の活動が必要とされる時代が来ると思います。

これからもボイスカウト福岡第14団は皆で協力し40・50年と発展する団にしていきたいと考えています。

その為には福岡北ロータリークラブ様との関係強化が大切です

今後も、引き続き活動にご理解ご支援賜りますよう宜しくお願い申しあげます。

最後に福岡北ロータリークラブ様の今後ますますの発展と、会員皆様のご活躍・ご健康をお祈りしてご挨拶とさせていただきます

創立30周年誠におめでとうございます。

ボーイスカウト福岡第14団のあゆみ

昭和59年 12月 発団記念式典 カブ隊発隊	平成14年 8月 第13回日本ジャンボリー参加
60年 8月 カブ隊サマーキャンプ	15年 6月 福岡北ロータリークラブ創立20周年
61年 3月 ボーイ隊上進式	式典奉仕
10月 スカウトハウス建設	8月 20周年記念キャンプ
62年 4月 ボーイ隊発隊	11月 20周年記念式典
63年 8月 5周年記念キャンプ	17年 8月 県連80周年合同野営大会参加
平成 元年 11月 シニア隊発足式	18年 8月 第14回日本ジャンボリー参加
シニア隊100kmハイク発参加	19年 9月 佐久間団委員長勇退し坂本団
2年 8月 第10回日本ジャンボリー参加	委員長就任
4年 4月 ビーバー隊発隊式	20年 8月 第8回九州キャンボリー参加
5年 3月 平野桂樹先生ご逝去	21年 10月 竹本昌史君スカウト富士章受賞
7月 創立10周年記念式典	22年 8月 第15回日本ジャンボリー参加
8年 9月 筧島団委員長勇退し佐久間新団委員長就任	菊スカウト2名麻生県知事表敬訪問
9年 3月 久保田謙介君スカウト富士賞受賞	23年 3月 東日本震災募金活動
8月 第6回九州大会参加	8月 田原菜月君スカウト韓日フォーラム参加
10年 4月 シニア隊がベンチャー隊へ移行	24年 8月 菊スカウト2名小川県知事表敬訪問
8月 第12回日本ジャンボリー参加	10月 田原菜月君スカウト富士章受賞
14年 5月 三島賢治君アジア地区表彰	

最近の活動状況の実績

▼平成24年上進式



▼ビーバー隊登山



【ボーイスカウト福岡第14団のあゆみ

▼ビーバー隊カントリー作戦



▼福岡北ロータリークラブ様参加のカブ隊30kmハイク



▼団餅つきでのカブスカウト



▼カブ隊、ビーバー隊合同でのユニセフ募金



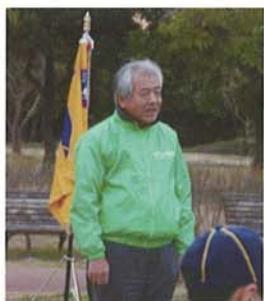
▼ボーイ隊年越しキャンプ



▼ボーイ隊壱岐島でのサマーキャンプ



【ボイスカウト福岡第14団と遊ぼう



2013.3月3日(日) 30キロハイクに参加。

好天気に恵まれ、早朝より西区「今津運動公園」に集合。コースは(5km、10km、15km、30km)、各コースの参加者は、順を追ってスタート、早春の風景を楽しみながら糸島路をハイクしました。お見送り係、お出迎え係も含めて、各人が出来ることを快く実践し、また巡回、送迎などの世話役も一致協力で、この事業を見事に成功させました。



▲スタートを前に集合する参加者に挨拶する福岡北RC大浦純平会長



▲スタート前に、ロータリアン、ボイスカウト関係者で記念撮影。



▲元気一杯、ゴールを目指す子供たち。



▲5kmコース出発点で。岩崎会員夫妻



▲10kmコースの岐部、中西、紙野各会員。
(スタート地点への送迎車を待っているところ)



▲10kmコースの集合場所で。小林、井植会員

|ボーアスカウト福岡第14団と遊ぼう



▲20kmポイントで。30kmコースの鐘川、森各会員



▲20kmポイント。篠崎会員は10kmコース。出発前の記念撮影(?)



▲野村、吉田会員



▲子ども達も、ひと休み。(20kmポイント)



▲最後の5km完歩に元気一杯スタート



▲25kmポイントで。だいぶんツカレタナ。



▲25kmポイントで。休ませて頂きます。さて、残りの5km完歩が待ってます!

【ボイスカウト福岡第14団と遊ぼう

元気に、ゴールしました――。



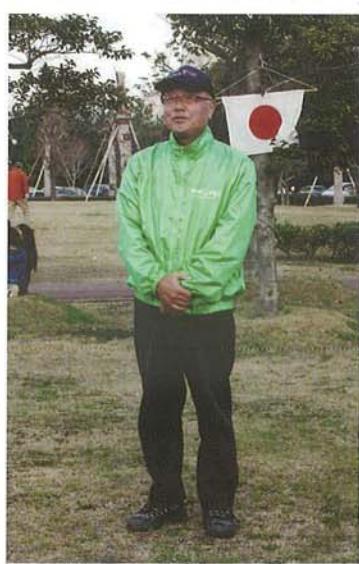
▲お出迎えの小牧さんと。岩崎、永尾、大浦、岐部各会員。



▲30km完歩の証書をいただく小野会員

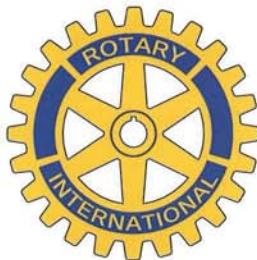


▲30km完歩のみなさん!!おつかれ様でした!!



▲参加者にお礼を述べる記念事業担当の鐘川副会長。

福岡北ロータリークラブ 創立30周年



編集後記

小副川さんより、「4月6日当日に渡せるよう記念誌を作り給え！！」とのお達示。ムムム、さて、どうするかいなと頭を捻りました。当日に発生する『記事（写真も含めて）』を除き、何を題材に貢立てをやるか！？ここが問題。我がクラブの10周年、20周年記念誌、他クラブの資料等参考に編集することに。

本来、部会の各位に分担、取りまとめて進めるのが筋なのですが、事例を基本に編集内容は大体把握できており、出稿のお願いや事務局の資料、会員の顔写真他の必要な「材料」は依頼したり順を追っての割り付け、貢立ては、仕事柄私の責任で充分完成迄持つていいける。その方がスムーズに実務は捲る分けです。身勝手な独断専行お許し下さい。

一月末で退職された大田さんには随分助けて頂きました。30周年記念座談会の企画に当たっては、元会長で経験豊かな森本さんの指導を仰ぎ、四つのテーマの設定や進行役をお願いし、見事に座談会の主旨は存分に満たされました。選抜された6人の会員の実に有意義で忌諱なき「意見」は各々に意味深長であり、幾つかのユニークなアイデアや主張は、ロータリーの新たな奉仕活動の主流になるかも知れません。相当内容のある、「福岡北」ならではの発想と云えましょうか！！

森本裕朗さんには漏れなく記録の上、活字にして頂いて有難うございました。記念誌部会の各位には色々と気配り支援を下さり、クラブの各位からも大変な協力を頂戴、心からお礼を申し上げます。小副川委員長には当初より適切な方向性を指示下さり、会議は毎回ロビンの事務所で、ご迷惑をお掛けしました。毎回顔出した岐部副委員長や私は、特にエビフライが乗っかった「カツカレー」の味を思い出すたびに、記念誌作りの「楽しさ」が甦ることでしょう！

有難うございました。クラブ内外の皆さまのご友情、ご親切ご支援に心より感謝申し上げます。

記念誌部会 小林 憲治

創立30周年記念誌部会

小林 憲治、金納 健太郎、前田 恒善、森本 裕朗、森本 茂雄

The 30th anniversary
Fukuoka North Rotary Club



福岡北ロータリークラブ
創立30周年記念誌

平成25年4月6日発行

編集／福岡北ロータリークラブ創立30周年記念誌部会
発行／福岡北ロータリークラブ
E-mail : fnrc@lime.ocn.ne.jp

The Four-Way Test

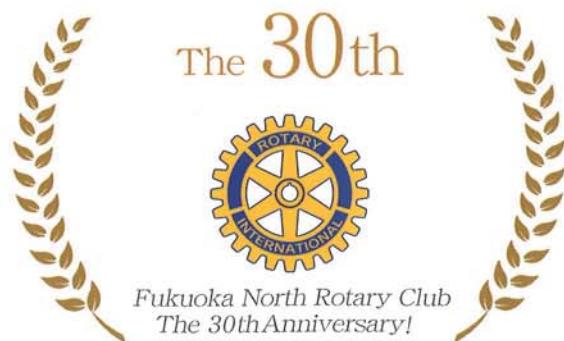
四つのテスト

"Is it the TRUTH ?"
真実かどうか？

"Is it FAIR to all concerned ?"
みんなに公平か？

"Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS ?"
好意と友情を深めるか？

"Will it be BENEFICIAL to all concerned ?"
みんなのためになるかどうか？



福岡北ロータリークラブ

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通 1-1-2
ホテルニューオータニ博多 5 階
TEL 715-6660
FAX 715-6692
Email fnrc@lime.ocn.ne.jp